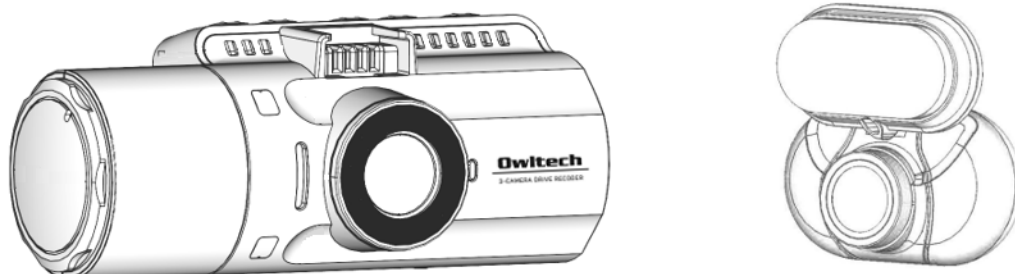


## ドライブレコーダー OWL-DR803FG-3C 取扱説明書 【保証書付】

このたびは弊社ドライブレコーダーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本説明書をご一読ください。また本説明書の末尾に保証書が付いておりますので、ご購入された年月日が特定できるレシートなどと共に、紛失しないよう大切に保管してください。



### 特徴

- 本製品は、フロントカメラに WQHD (2560 × 1440p)、車内・リアのカメラに FHD (1920 × 1080p) と 3つのカメラで同時に車内外の様子を超高解像度で記録します。フロント F1.4、車内・リア F1.8 の明るいレンズを搭載。SONY 製 CMOS イメージセンサー (STARVIS™) と組み合わせることで、夜でも明るくノイズの少ない鮮明な映像を記録することができます。
- 車内カメラに赤外線 LED ライトを搭載。ドライブレコーダーの周囲が暗くなると自動で赤外線撮影に切り替わります。トンネル内や夜間は暗い車内の様子を白黒映像で高解像度に記録することができます。
- GPS 衛星と日本の人工衛星である「みちびき」に対応。「みちびき」は日本の上空に滞在しているため、より高精度な測位が可能となります。
- 日時情報を GPS 衛星や「みちびき」から自動取得できるため、日付や時刻を設定する必要がありません。また日時情報を映像と共に記録として残すことができます。
- G センサーを搭載し、衝撃時の映像をマイクロ SD カードのイベントフォルダに保存します。
- WDR (ワイドダイナミックレンジ) 技術で、逆光やトンネル出入り口など明暗差の大きなシーンでも最適な露出で撮影できます。(すべてに対応)
- フロント・車内・リアカメラともに LED 信号機消滅問題対策済みです。日本全国どこでも安心してご使用できます。
- 地デジ電波妨害対策済みです。地デジ放送に影響を与えないノイズ対策を行っています。
- 録画開始を音でお知らせし、画面を見ることなく録画開始がわかります。
- 録画時にドライブ中の音声は録音をせず、事故時など衝撃を検出したときだけ音声録音を行う「プライバシーオート録音機能」搭載で、プライバシーを守りつつ肝心な事故時の音は逃しません。
- 専用の駐車監視ケーブル (別売) を使用することで、エンジンの始動と停止 (ACC オン・オフ) に連動した駐車監視を行うことができます。
- 「SD カードのメンテナンスのお知らせ機能」搭載で、マイクロ SD カードの定期的なメンテナンスを促すメッセージを表示します。



### ⚠️ もしも事故が発生した場合




事故の程度に関わらず、事故発生時は記録されたデータが上書きされないように、必ずマイクロ SD カードを抜いて保管、およびデータのバックアップを行ってください。マイクロ SD カードを抜き取る際は、必ず本製品の電源をオフの状態で行ってください。電源がオンのまま抜き出すとデータ消失の恐れがあります。

## はじめに

- 付属品をご確認ください。（準備ページの『1.1パッケージ内容』（5ページ）をご確認ください。）
- 本製品および本説明書は予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。最新の情報は弊社Webサイト (<https://www.owltech.co.jp>) を参照してください。本説明書に掲載している画面やイラスト・写真などは、実際の製品と異なる場合があります。
- 本説明書の内容については万全を期して作成しておりますが、万一ご不明の点や誤りなどお気づきのことがございましたら弊社サポートセンターにご連絡ください。
- 万一本製品使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求、自然災害による損害についても、弊社では一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による損害および逸失利益等につきましては、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本製品をご使用する前に必ず試し撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本説明書の一部または全部を無断で使用・複写・転載しないでください。
- STARVISはソニー株式会社の商標です。
- 本説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。本説明書ではTMマークおよび®マークは明記しておりません。
- ご使用前に「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

## 安全上のご注意（必ずお守りください）

 <b>警告</b>	誤った取扱いをすると「人が死亡するまたは重傷を負うなどの可能性が想定される内容」を示しています。
 <b>注意</b>	誤った取扱いをすると「人が傷害を負う可能性や物的損害などが発生する可能性が想定される内容」を示しています。

	製品の取扱いにおいて注意を促す記号です。
	製品の取扱いにおいて行為を禁止する記号です。
	製品の取扱いにおいて行為を強制指示する記号です。

### **警告**

- 濡れた手で本製品およびアダプタやコネクタに触れないでください。感電や故障などの原因になります。
- 本製品を使用中に発火、過剰な発熱、発煙、異臭などの異常が発生した場合、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店もしくは弊社サポートセンターにご連絡ください。
- 本製品を使用中に水や液体が入った場合は、直ちにケーブル・コード類を抜き使用を中止してください。発煙や発火、故障の原因になります。
- 本体の分解や改造は絶対に行わないでください。ショートして火災や感電、故障や交通事故等の原因になることがあります。
- 車両への取り付けは、必ず本説明書手順に従って取り付けてください。誤って取り付けると、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故等けがの原因になります。
- 運転者は走行中に本製品の操作をしたり、画面の注視をしたりしないでください。交通事故等の原因になります。マニュアル録画や設定変更などを行う際は、必ず安全な場所へ停車してから操作してください。
- 小さなお子様や乳幼児の手の届く場所での使用や保管はしないでください。ケーブル・コードが首などに巻きついたり、小さな部品を誤飲するなど、事故や傷害の原因になります。特に、マイクロSDカードの取り扱いには十分ご注意ください。

### **注意**

- 火気のそばでの使用や保管はしないでください。本体の変形や故障の原因になります。

- コネクタに汚れやほこりが付いている場合は、乾いた柔らかい布でよく拭き取ってから使用してください。火災や故障の原因になります。
- コネクタに無理やり押し込まないでください。コネクタの破損やショートの原因になります。
- 本製品を無理に引っ張ったり、折り曲げたり、上に重いものを載せたりしないでください。また、強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。故障の原因になります。
- 本体・リアカメラコード・シガープラグコードは、エアバッグ等の妨げにならないように取り付けてください。エアバッグ等の動作不良やけがの原因になります。
- 長期間ご使用にならないときは、シガープラグコードを抜いてください。
- 本製品は日本国内でのご使用を目的として販売しており、日本国外でのご使用は保証対象外となります。
- 本製品付属のシガープラグコードは本製品専用です。弊社他製品・他社製品には使用しないでください。また弊社他製品・他社製品のシガープラグコードを本製品で使用しないでください。
- 駐車監視をご使用の場合、注意事項を必ずご確認ください。車両のバッテリー上がりに関して、弊社では一切の責任を負いかねます。

## 使用上のご注意

- 本製品に水などの液体をかけたりしないでください。火災や発火、感電の原因になります。
- 本製品の端子などの金属部分に指で触れないでください。接触不良の原因になります。
- マイクロSDカードを挿入する場合は、正しいコネクタの向きに水平に接続してください。誤った向きに挿入すると、マイクロSDカードの破損、データ消失や本製品の故障の原因になります。
- マイクロSDカードの抜き差しを行うときは、必ず電源をオフにしてから行ってください。マイクロSDカードの破損、データ消失や本製品の故障の原因になります。
- マイクロSDカードは消耗品です。定期的に新品と交換してください。また長時間記録を繰り返すと記録できない部分(=不良セクタ)が増え記録できなくなることがあります。1カ月に1度を目安に定期的にフォーマットを行ってください。
- マイクロSDカードはSDHC/SDXC規格に適合した高速SDカードを使用してください。【容量128GBまで:UHSスピードクラス1(U1)以上】
- 本製品をご使用中にマイクロSDカードのデータが消失しても、データの保証について弊社は一切責任を負いかねます。
- 本製品のコードの被覆が破れたり、コネクタがぐらついたりするなどの異常がある場合には直ちにご使用を中止してください。本体の故障や交通事故の原因になります。
- LCD(液晶)画面は、画面の一部にドット抜け(ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点)が見えることがあります。これらはLCDの特性によるものであり、故障ではありません。
- 赤外線LEDライトを長時間直視しないでください。目に悪影響を及ぼす恐れがあります。
- コネクタに汚れやほこりが付いた場合は、乾いた柔らかい布でよく拭き取ってから使用してください。火災や故障の原因になります。
- 本製品のご使用または使用不能から生じる付随的な損害に対する補償や、接続した機器などに対する保証は一切いたしかねます。
- 本製品をご使用中に皮膚に異常を感じたときは、直ちに使用を止め、皮膚科専門医にご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。
- 製品の仕様、デザイン、および本説明書の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。
- 本製品はすべての状況において、映像を記録することを保証するものではありません。
- 本製品の故障や本製品のご使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの破損、破損による損害については、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本製品は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本製品はLED式信号機対策済み商品ですが、稀に点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。それにより発生する損害について弊社は一切責任を負いかねます。
- 本製品の近くにGPS機能を持つ製品を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
- 地デジ等のテレビアンテナの近くに設置しないでください。テレビの受信感度が低下する可能性があります。
- 本製品をいたずらなど本来の目的以外で使用すると、個人情報保護法に抵触する恐れやプライバシーなどの権利を侵害する恐れがあります。これらについて、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品の取り付けによる車両の変色・変形について、弊社では一切の責任を負いかねます。

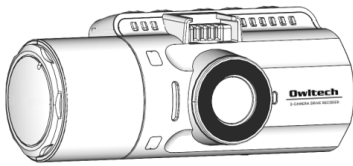
# 内容

特徴	1	4.4 ビューワーソフトでの再生	30
はじめに	1	4.5 テレビ（モニター）での再生	30
安全上のご注意（必ずお守りください）	2	5 消去する／保護する	31
使用上のご注意	3	5.1 ファイルの消去	31
1 準備	5	5.2 ファイルの保護／保護解除	32
1.1 パッケージ内容	5	6 設定を変更する	33
1.2 各部の名称	6	6.1 録画設定メニュー	33
1.3 各部の説明	7	6.2 システム設定メニュー	36
1.4 車内カメラについて	8	7 キー割当て	38
1.5 カメラの画面表示について	8	8 故障かな？と思ったら	39
1.6 マイクロ SD カードの取付け／取外し	9	8.1 電源がオン・オフにならない	39
1.7 ドライブレコーダー取付手順	10	8.2 録画を開始しない	39
1.8 本体・ブラケット・リアカメラの接続方法	11	8.3 キーが反応しない、録画が勝手に停止する 等、動作がおかしい	39
1.9 シガープラグコードの接続	12	8.4 メモリーエラーが出る	39
1.10 電源のオン／オフ	12	8.5 常時録画ファイルが保存されていない	39
1.11 本体の取付けと配線	13	8.6 録画した映像がぼやけている	40
1.12 リアカメラの取付けと配線	14	8.7 停車中やアイドルリング中に電源がオフして しまう	40
1.13 動作モード	15	8.8 地上デジタル放送や他の車載機器に影響が でる	40
1.14 日時の設定	16	8.9 パソコンで映像が再生できない。又はスム ーズに再生できない	40
1.15 マイクロ SD カードのフォーマット	17	8.10 日時がリセットされてしまう	40
2 録画する	19	8.11 LCD 画面がしばらくすると消えてしまう .....	40
2.1 動画モードについて	19	8.12 リアカメラが表示されない	40
2.2 録画時間の目安	19	8.13 駐車監視が設定された時間通りに動作し ない	40
2.3 動画モード画面表示	20	8.14 駐車監視に移行しない。又は復帰しない	40
2.4 常時録画	21	8.15 専用駐車監視ケーブルを使用しており、 電源がオン・オフにならない	41
2.5 マニュアル録画	21	8.16 トンネルの出入り口など明暗差があると ここで本体から異音がする	41
2.6 緊急録画（衝撃検出時）	21	9 仕様	42
2.7 保護録画（手動）	22		
2.8 駐車監視	23		
2.9 プライバシーオート録音	26		
3 写真を撮る	27		
3.1 スナップショット	27		
4 再生する	27		
4.1 本製品での再生	27		
4.2 再生モード画面表示	28		
4.3 パソコンでの再生	29		

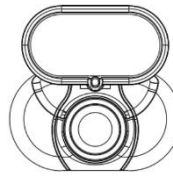
# 1 準備

## 1.1 パッケージ内容

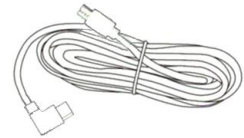
- 本体
  - リアカメラ
  - リアカメラコード (コード長 : 約 8m)
  - GPS 内蔵ブラケット
  - シガープラグコード (コード長 : 約 4m)
  - マイクロ SD カード (16GB)
  - 取扱説明書 兼 保証書 (本説明書)
  - 両面テープ (GPS 内蔵ブラケット・リアカメラ用予備 1 セット)
  - リアカメラ用 ブラケット固定ネジ (2 個)
- ※両面テープ、固定ネジ、マイクロ SD カード等の消耗品は保証対象外となります。  
※本製品に専用駐車監視ケーブルは同梱しておりません。



本体



リアカメラ



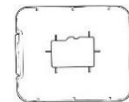
リアカメラコード



GPS 内蔵ブラケット



シガープラグコード

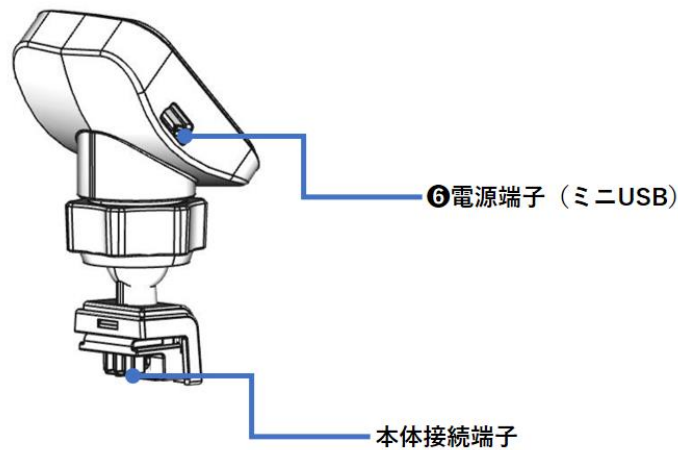
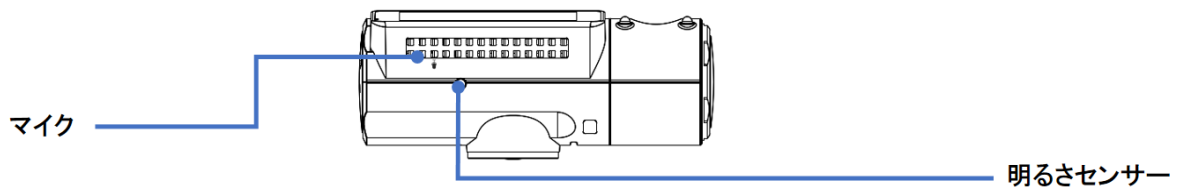
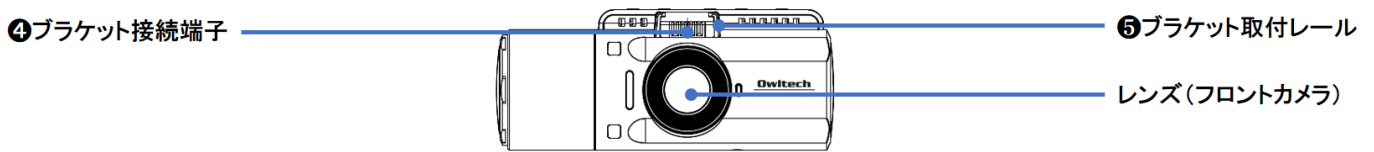
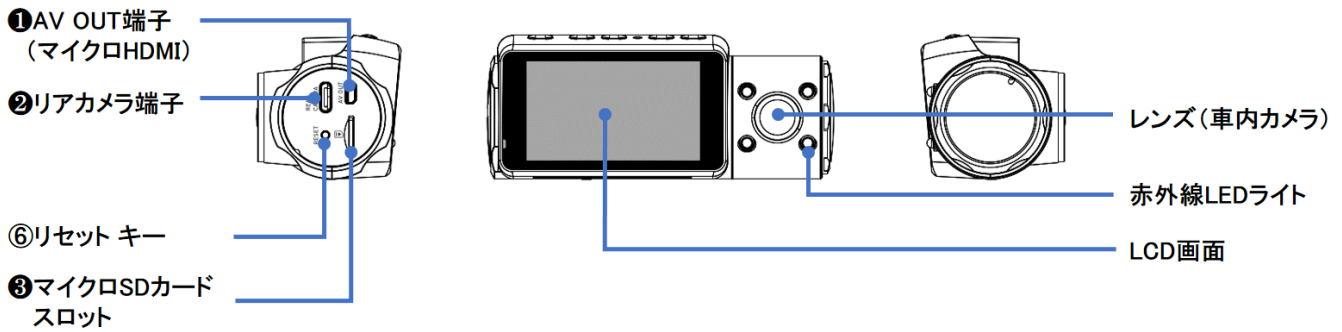
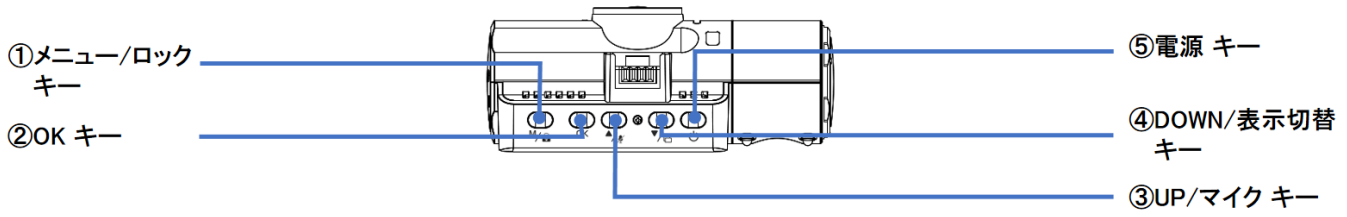


マイクロ SD カード

⚠ マイクロ SD カードは SDHC/SDXC 規格に適合した高速 SD カードを使用してください。  
【容量 128GB まで : UHS スピードクラス 1 (U1) 以上】



## 1.2 各部の名称



## 1.3 各部の説明

### (1) キーボタン

番号	名称	説明
①	メニュー/ロック キー	動画モードで録画中に押すと「保護録画」になります。録画停止中に押すとメニューが表示されます。各メニュー表示中に押すと一つ前の状態に戻ります。
②	OK キー	動画モードでは、録画の開始/停止を行います。 再生モード（1画面表示）では、再生/一時停止を行います。 再生モード（一覧表示）では、選択ファイルを決めます。 各メニューでは、選択項目を決めます。
③	UP/マイク キー	動画モードではキーを押すと「音声録音」の設定を切り替えます。各メニューでは、項目やファイルの選択を行います。
④	DOWN/表示切替 キー	動画モードではキーを押すと画面表示を切り替えます。各メニューでは、項目やファイルの選択を行います。
⑤	電源 キー	録画中に1回押すと、スナップショット写真を撮影します。 電源オンの状態で長押し（約2秒以上）をすると電源をオフします。
⑥	リセット キー※1	本製品が応答しないなど動作異常が起こった場合は、リセットしてください。リセットする際は、爪楊枝などで「リセット」キーを軽く押してください。「リセット」キーを押すと本体が再起動します。（再起動しない場合は、⑤電源キーから電源を入れ直してください。）

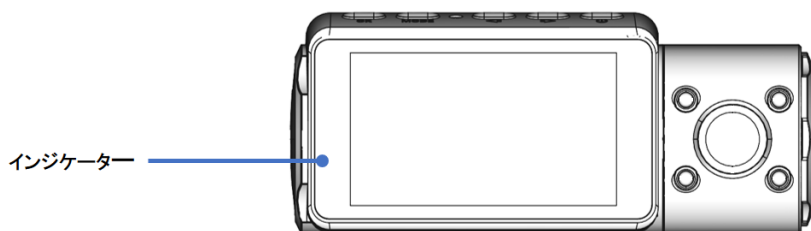
⊗ ※1：誤ってマイクなどほかの穴に挿入しないでください。故障の原因になります。

### (2) 外部端子等

番号	名称	説明
①	AV OUT 端子 (マイクロ HDMI)	液晶モニターやテレビなどに HDMI ケーブルを接続して再生画面を表示します。
②	リアカメラ端子	リアカメラコードを接続してください。AV OUT 端子を使用する場合などは電源入力端子としてご利用できます。
③	マイクロ SD カードスロット	マイクロ SD カード用のスロットです。本説明書の内容に従い、正しく挿入してください。
④	ブラケット接続端子	GPS 内蔵ブラケットを取り付けます。本説明書の内容に従い、正しく装着してください。
⑤	ブラケット取付レール	
⑥	電源端子 (ミニ USB)	電源端子です。シガープラグコードを接続してください。

### (3) インジケータ

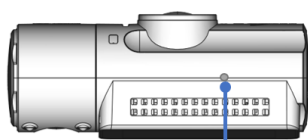
状態	説明
青点滅	録画中であることを示します。
青点灯	録画停止中であることを示します。
消灯	録画停止中、電源オフ、駐車監視の待機状態であることを示します。



## 1.4 車内カメラについて

【通常撮影】

【赤外線撮影】



明るさセンサー



本体の底面に明るさセンサーが搭載されています。センサー付近が暗くなると赤外線撮影に自動的に切り替わります。赤外線撮影中は車内カメラ周辺にある4つのLEDから近赤外線を照射します。近赤外線は人の目には映らないため、運転に影響を与えず、暗い車内の様子を高精細に録画する事が可能です。

また、車内カメラは向きを上下（約±40°の範囲）に調整できます。

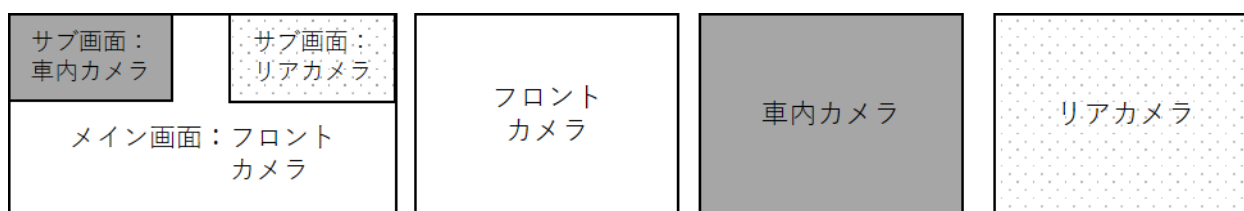
- ⊘ 赤外線 LED ライトを長時間直視しないでください。目に悪影響を及ぼす恐れがあります。
- ❗ 赤外線 LED ライトの近くにルームミラーなどの赤外線を遮るものがある場合、赤外線が反射し赤（紫）みを帯びた映像になる場合があります。障害物から離れた位置に設置を行ってください。
- ⚠ 通常撮影と赤外線撮影を切り替える際に本体からカチッと音がしますが、これは赤外線カットフィルタの切り替え音であり故障ではありません。
- ⚠ 窓ガラスがスモークガラス等の特殊加工されている場合、窓の外が映らない場合があります。

## 1.5 カメラの画面表示について

3つのカメラの画面表示位置は、「DOWN/表示切替」キーを押す事で切り替えることができます。

初期設定ではメイン画面にフロントカメラ、画面の左上に車内カメラ、右上にリアカメラが表示されます。

「DOWN/表示切替」キーを押す毎に「初期設定」→「フロントカメラ」→「車内カメラ」→「リアカメラ」に切替わり、もう一度押すと元の初期設定に戻ります。設定は電源オフ後も保持されます。



【↑初期設定】



## 1.6 マイクロ SD カードの取付け／取外し

- ⊘ マイクロ SD カードの抜き差しを行うときは、必ず本体の電源をオフにしてから行ってください。マイクロ SD カードの破損、データ消失や本製品の故障の原因になります。

- (1) マイクロ SD カードの金メッキ端子側を図の向きに合わせて、マイクロ SD カードスロットにまっすぐ水平に「カチッ」と音が鳴るまで挿入してください。マイクロ SD カードが本体よりはみ出している場合は完全に挿入されていません。再度挿入し直してください。
- (2) 取り外す場合は、電源がオフであることを確認し、マイクロ SD カードを軽く押し込んでください。マイクロ SD カードが少しはみ出てくるので、静かに引き抜いてください。



- ⊘ マイクロ SD カードの金メッキ端子側を逆向きに挿入しないでください。本体およびマイクロ SD カードの故障の原因になります。
- ❗ 本製品で初めて使用するマイクロ SD カードの場合は、必ず最初に本製品でフォーマットを行ってください。フォーマットの方法は『1.15 マイクロ SD カードのフォーマット』（17 ページ）を参照してください。
- ❗ マイクロ SD カードの取付け、または取外しを行った際は、本体に映像が問題なく記録されているか必ず確認してください。
- ⚠ マイクロ SD カードを押し込んだ際に勢いよく飛び出す場合がありますので、紛失しないように注意してください。
- ⚠ マイクロ SD カードは SDHC/SDXC 規格に適合した高速 SD カードを使用してください。【容量 128GB まで：UHS スピードクラス 1（U1）以上】

### ⚠ 推奨メンテナンス

マイクロ SD カードは消耗品です。長時間記録を繰り返すと記録できない領域（＝不良セクタ）が増え記録できなくなることがあります。使用頻度に合わせて、最低 1 カ月に 1 度を目安に定期的なフォーマットや正常に録画保存が行えるか点検を行ってください。使用頻度が高い場合は、定期的に新品と交換してください。

## 1.7 ドライブレコーダー取付手順

■以下の流れで、本製品を取り付けてください。

1.8 本体・ブラケット・リアカメラの接続方法 11 ページ参照

1.9 シガープラグコードの接続 12 ページ参照

※専用駐車監視ケーブルをご使用の方は、専用駐車監視ケーブルの取扱説明書を確認してください。

1.10 電源のオン/オフ 12 ページ参照

※電源をオンし、3つのカメラすべてが正常に表示されるか確認してください。

1.11 本体の取付けと配線 13 ページ参照

※取り付け前に撮影画面を見ながら位置を事前に決定してください。

1.12 リアカメラの取付けと配線 14 ページ参照

※取り付け前に撮影画面を見ながら位置を事前に決定してください。

1.14 日時の設定 16 ページ参照

1.15 マイクロ SD カードのフォーマット 17 ページ参照

■基本的な取り付けと設定作業は完了です。

実際に走行し試し撮りを行ってください。  
録画したファイルは、本製品・パソコン上で再生が可能です。

4 再生する 27 ページ参照

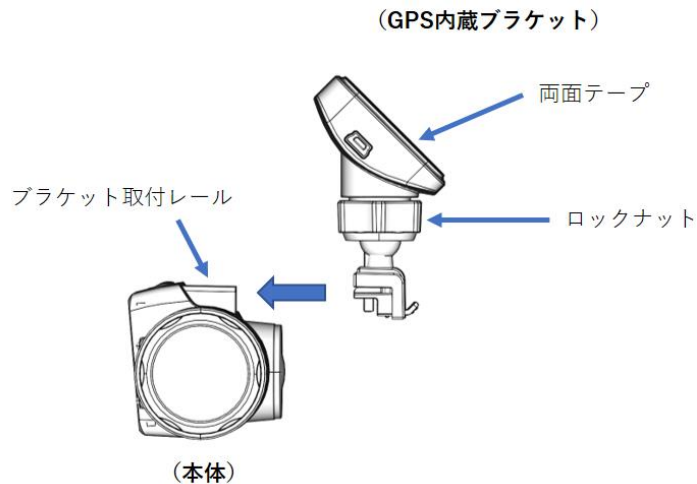
※映像確認後、必要に応じて設定や角度調整を行ってください。

■終了

## 1.8 本体・ブラケット・リアカメラの接続方法

### (1) 取付け方法

- 本体に GPS 内蔵ブラケットを矢印の方向に取り付けてください。
  - ロックナットを緩めたり締めたりすることで、本体の角度の調節を行うことができます。
- ⚠ 本体に GPS 内蔵ブラケットを取り付ける際は、「カチッ」と音がするまで挿入してください。取り付けが不完全だと落下する恐れがあります。



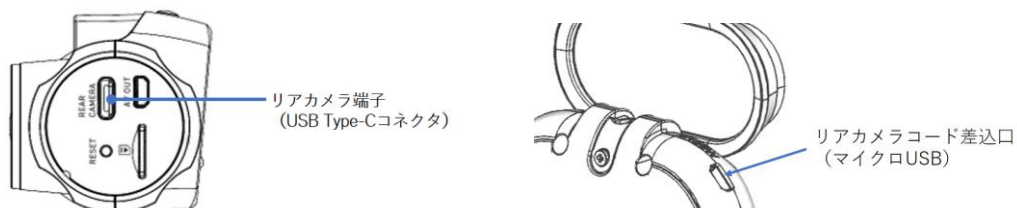
### (2) 取外し方法

- GPS 内蔵ブラケット接続部分の固定ツメを上を持ち上げながら、本体を左矢印の方向にスライドさせると、本体を取り外す事ができます。



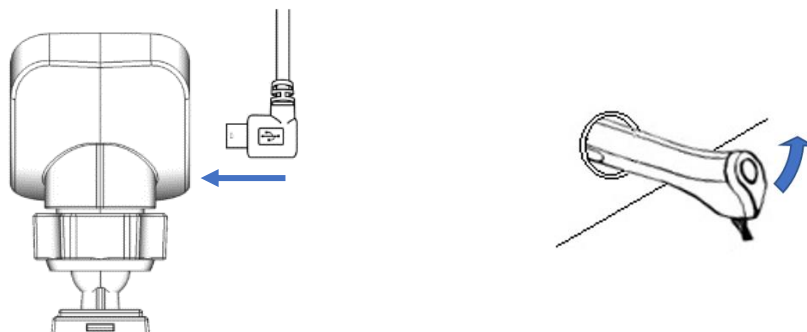
### (3) リアカメラの接続方法

- リアカメラコードを、リアカメラのリアカメラコード差込口に接続してください。



## 1.9 シガープラグコードの接続

シガープラグコードを GPS 内蔵ブラケットの電源端子（ミニ USB）に挿入し、車内のシガーソケットまたはアクセサリソケットに取付けてください。また、シガープラグコードのカバーを矢印方向へずらすと、サービスポートが現れ、USB 端子をお使いいただけます。



- ❗ シガープラグコードは必ず付属のシガープラグコードを使用してください。他のシガープラグコードを使用すると故障等の原因になります。
- ⚠ サービスポート部のカバーは無理にスライドさせないでください。故障等の原因になります。
- ⚠ サービスポートは急速充電等には対応していません。また、全てのスマートフォンにおける充電動作を保証しておりません。あらかじめご了承ください。

## 1.10 電源のオン/オフ

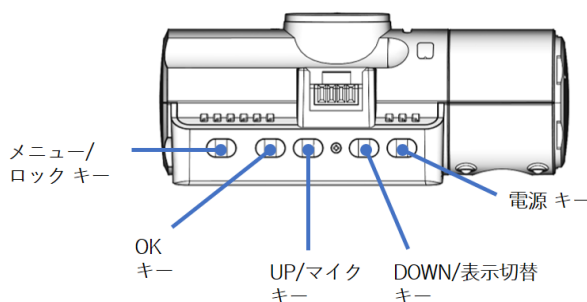
電源のオン/オフは 2 通りの方法があります。

### (1) 車両のエンジンと連動し電源をオン/オフ

- 車両のエンジンを始動（ACC=オン）させると、自動的に本製品の電源がオンになり、録画を開始します。
- 車両のエンジンを停止（ACC=オフ）させると、自動的に本製品の録画を終了し、電源がオフになります。

### (2) 手動で本製品のボタンを押して電源をオン/オフ

- 電源がオンの状態で「電源」キーを 3 秒以上押し続けるとオフになります。再度「電源」キーを 3 秒以上押し続けると電源がオンになります。

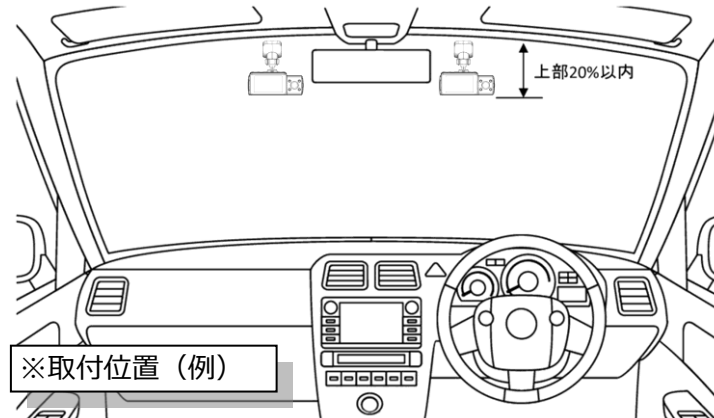


- ❗ 本製品を初めて使用する場合は、スーパーキャパシタに充電されていない可能性があるため、使用前に約 10 分程度充電してください。充電されていない状態で電源をオフすると、全ての設定値が初期状態に戻る場合があります。
- ⚠ マイクロ SD カードが入っていない場合は、録画を行いません。

## 1.11 本体の取付けと配線

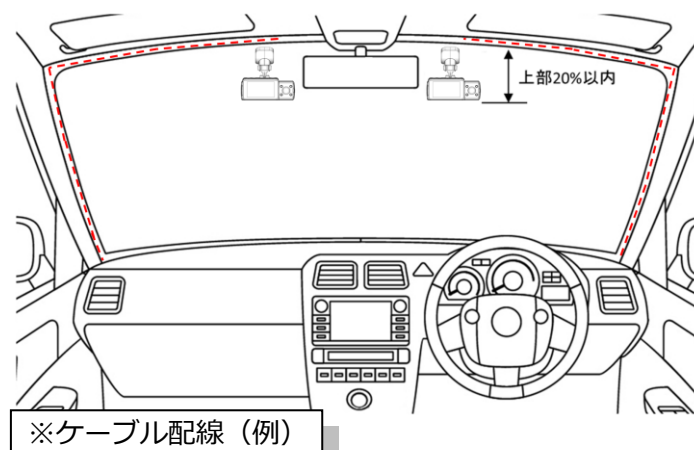
安全にお使いいただくために必ず下記の注意事項を守って、取付位置の確認と取り付け作業を行ってください。

- ❗ 取付け、配線前に本製品の動作確認を行ってください。動作異常の防止につながります。
- ❗ エアバッグの動作の妨げや、運転の妨げにならないように十分注意して配線してください。安全基準に適合させるために必ず下記の注意事項を厳守の上、取り付けを行ってください。
- ⚠ 本体はフロントガラスの内側に取り付けることを想定しています。



### (1) 取付位置の確認

- 取り付けを行う前に、電源をオンにし、撮影画面を見ながら取付位置を決定してください。
  - ❗ フロントガラスへの取り付けに関しては、道路運送車両法に基づき設置場所がフロントガラス上部より20%以内に制限されています。視界の妨げにならないように取り付けてください。
  - ❗ ワイパーの可動範囲内に取り付けてください。可動範囲外に取り付けると、降雨時・降雪時に水滴・雪・汚れ等で映像が見づらくなります。
  - ⊘ 地デジ等のテレビアンテナの近くに設置しないでください。テレビの受信感度が低下する場合があります。



### (2) 取付けと配線方法

- 事前に取付位置を決め、取付場所のフロントガラスの油脂や汚れをクリーナーなどで取り除いてください。(油分や、汚れが付着したまま取り付けると取り付け強度が低下します。)
- GPS内蔵ブラケットの両面テープの保護シートを剥がして、フロントガラスと両面テープの間に気泡が入らないようにしっかりと押し付けながら貼り付けてください。



- 画面を見て位置を調整し、ロックナットをきつく締めてください。
- 市販のコードクリップなどを利用し配線を行ってください。コード類を隠す場合は、車両の購入店に確認しガラスと内張り等の隙間やパッキン類の隙間を利用してください。
  - ⊘ レンズには保護フィルムが貼られています。使用時には剥がしてください。またレンズに手を触れないでください。万一汚れた場合は柔らかい布等で拭き取ってください。
  - ⚠ エアバッグの動作の妨げや、運転の妨げにならないように十分注意して配線してください。
  - ⚠ テレビや AM・FM ラジオのアンテナ付近に配線すると、電波の受信に影響を与える場合があります。配線の位置を変更する事で影響が緩和される事があります。

## 1.12 リアカメラの取付けと配線

安全にお使いいただくために必ず下記の注意事項を守って、取付位置の確認と取り付け作業を行ってください。

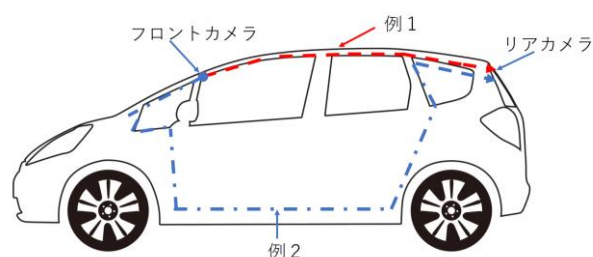
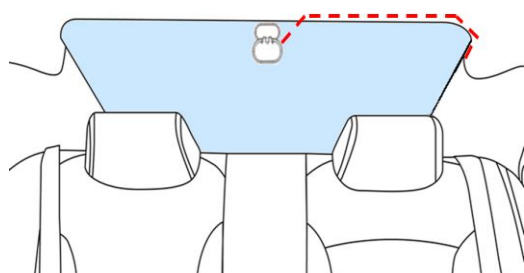
- ⚠ 取り付け、配線前に本製品の動作確認を行ってください。動作異常の防止につながります。
- ⚠ リアカメラはリアガラスの内側に取り付けることを想定しています。

### (1) 取付位置の確認

- 取り付けを行う前に、本体の電源をオンにし、撮影画面を見ながら取付位置を決定してください。
  - ⚠ ワイパーの可動範囲内に取り付けてください。(リアワイパー装着車) 可動範囲外に取り付けると、降雨時・降雪時に水滴・雪・汚れ等で映像が見づらくなります。
  - ⚠ 取付位置は視界の妨げにならないように調整してください。
  - ⊘ リアガラスの熱線を避けて設置してください。

### (2) 取付けと配線方法

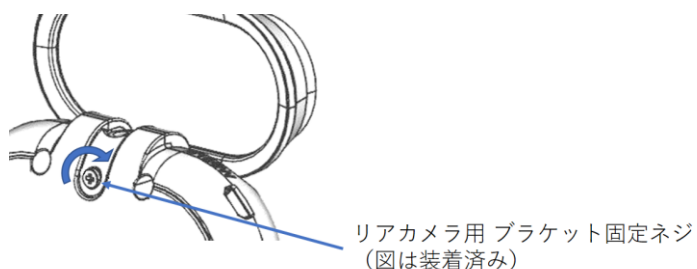
- ⚠ エアバッグの動作の妨げや、運転の妨げにならないように十分注意して配線してください。



- 事前に取り付位置を決め、取付場所のリアガラスの油脂や汚れをクリーナーなどで取り除いてください。(油分や、汚れが付着したまま取り付けると取り付け強度が低下します。)
- 両面テープの保護シートを剥がして、リアガラスと両面テープの間に気泡が入らないようにしっかりと押し付けながら貼り付けてください。
- 市販のコードクリップなどを利用し配線を行ってください。コード類を隠す場合は、車両の購入店に確認しガラスと内張り等の隙間やパッキン類の隙間を利用してください。
  - ⊘ レンズには保護フィルムが貼られています。使用時には剥がしてください。またレンズに手を触れないでください。万一汚れた場合は柔らかい布等で拭き取ってください。

### (3) ブラケットの固定方法

- ブラケットの固定が緩い場合は、「リアカメラ用ブラケット固定ネジ」を下記図を参考にしながら差し込み、精密ドライバー000（+）又は00（+）等で、時計回りに少しずつ回して固定具合を確認しながらネジ留めを行ってください。



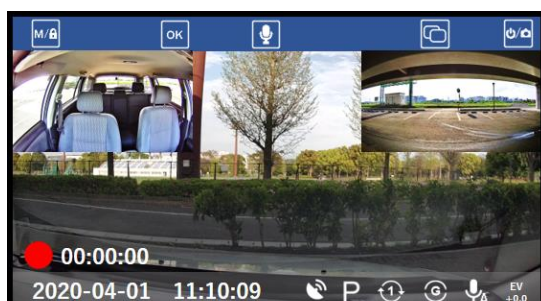
## 1.13 動作モード

本製品は「動画モード」、「メニューモード」、「再生モード」の3つの動作モードがあります。

- 「動画モード」は撮影中の映像を表示し録画を行います。
- 「メニューモード」は録画やシステムに関する設定変更を行います。
- 「再生モード」は録画したファイルの再生やファイルの保護を行います。

⚠ 再生と録画を同時に行うことはできません。

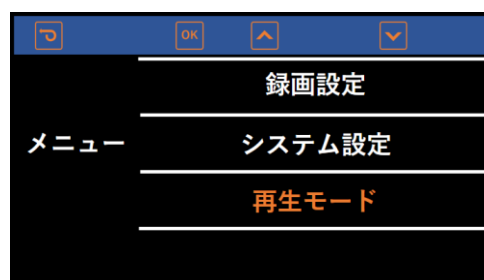
[動画モード画面]



[再生モード画面（一覧表示）]



[メニューモード画面]



## 1.14 日時の設定

日時は GPS により自動的に設定されるため、設定の必要がありません。ただし GPS が受信できないような環境でお使いの場合は、以下の手順で設定を行ってください。

(1) 録画停止中に「メニュー/ロック」キーを押すとメニューが表示されます。

(録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください。)



- (2) 「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで「システム設定」を選択し、「OK」キーで決定してください。
- (3) 「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで「日付/時刻」を選択し、「OK」キーで決定してください。
- (4) 最初に西暦を変更します。「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで数字を選択し、「OK」キーで決定してください。
- (5) 「OK」キーを押す毎に、[西暦→月→日→時→分→秒]に移動しますので、西暦と同様に月日と時刻を合わせて「OK」キーで決定してください。
- (6) 「メニュー/ロック」キーを3回押すと動画モードに戻ります。

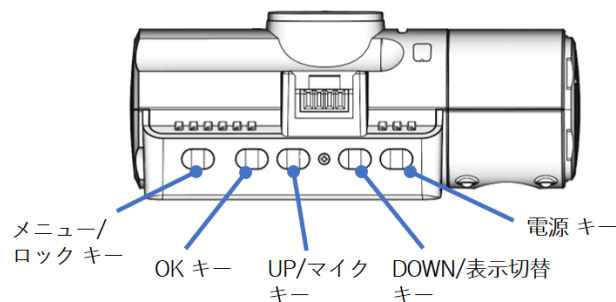
**⚠** 長時間本製品を使用しない場合など、電源オフの状態が長く続くとスーパーキャパシタの電圧が低下し、日時設定が初期状態に戻ることがあります。その際は、約10分程度充電を行い、再度設定を行ってください。

## 1.15 マイクロ SD カードのフォーマット

マイクロ SD カードを初めて使用する場合は、マイクロ SD カードのフォーマットが必要です。以下の手順に従って本製品上でフォーマットを行ってください。また品質を維持するために定期的にフォーマットを行ってください。

**⚠** 本体はフォーマットを行うと、マイクロ SD カード内の全てのデータが消去されますのでご注意ください。

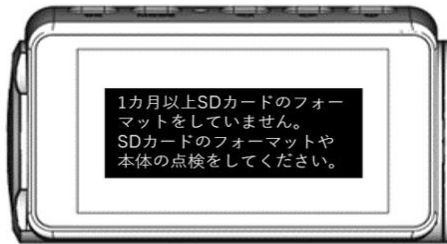
- (1) 録画停止中に「メニュー/ロック」キーを押すとメニューが表示されます。  
(録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください。)
- (2) 「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで「システム設定」を選択し、「OK」キーで決定してください。
- (3) 「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで「SD 初期化」を選択し、「OK」キーで決定してください。
- (4) “全てのデータを消去します”と表示されますので、「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで「OK」を選択し、「OK」キーで決定するとフォーマットを実行します。
- (5) “フォーマット完了”と表示されたらフォーマットは完了です。
- (6) 「メニュー/ロック」キーを 2 回押すと動画モードに戻ります。



- !** マイクロ SD カードの抜き差しを行うときは、正しいコネクタの向きに水平に接続してください。誤った向きに挿入すると、マイクロ SD カードの破損、データ消失や本製品の故障の原因になります。
- !** マイクロ SD カードの抜き差しを行うときは、必ず電源をオフにしてから行ってください。マイクロ SD カードの破損、データ消失や本製品の故障の原因になります。
- !** 長時間記録を繰り返すとマイクロ SD カードが消耗し、転送速度の低下や記録ができなくなることがあります。定期的に新品と交換してください。また、マイクロ SD カードの買い換えの際には、SDHC/SDXC 規格に適合した高速 SD カードを購入してください。【容量 128GB まで：UHS スピードクラス 1 (U1) 以上】

## ⚠ 推奨メンテナンス

マイクロ SD カードは消耗品です。長時間記録を繰り返すと記録できない部分（＝不良セクタ）が増え、記録できなくなることがあります。使用頻度に合わせ、最低 1 カ月に 1 度を目安に定期的なフォーマットや正常に録画保存が行えるか点検を行ってください。使用頻度が高い場合は、定期的に新品と交換してください。また、マイクロ SD カードの買い換えの際には、SDHC/SDXC 規格に適合した高速 SD カードを購入してください。【容量 128GB まで：UHS スピードクラス 1（U1）以上】



### ＜SD メンテナンスのお知らせ＞

「SD メンテナンスのお知らせ設定」（初期設定：オン）により、マイクロ SD カードを最後にフォーマットしてから 1 カ月経過した場合に、電源オン後に定期的なフォーマットや本体の動作確認を促すメッセージを表示します。

⚠ メッセージ表示中も録画は行われています。メッセージが不要な場合はシステム設定で機能を「オフ」にすると表示されません。『SD カードメンテナンスのお知らせ（37 ページ）』を参照してください。



## 2 録画する

### 2.1 動画モードについて

本製品には5つの動画モードがあります。

項目	説明
常時録画	エンジン始動（ACC=オン）後、自動的に録画を開始し、エンジン停止（ACC=オフ）までの映像を常時録画します。
マニュアル録画	録画停止中に「OK」キーを押すと録画を開始し、録画中に「OK」キーを押すと録画を停止します。
緊急録画 （衝撃検出時）	常時録画やマニュアル録画中に、内蔵のGセンサーが衝撃を検出すると、LCD上に▲アイコンが表示され、約20秒間録画を継続し保護ファイルとして記録します。
保護録画 （手動）	録画中に「メニュー/ロック」キーを押すと、LCD上に▲アイコンが表示され約20秒間録画を継続して、保護ファイルとして記録します。
駐車監視	駐車監視中は、本体が待機状態となります。Gセンサーが衝撃や振動を検出すると緊急録画を開始します。 ▲ 本機能を使用するには別売の専用駐車監視ケーブルが必要です。シガープラグコードで使用する場合は設定をオフにしてください。

▲ 駐車監視モードの待機状態時は、ロゴ画面の表示後、LCD画面が消え、インジケータも消灯します。

### 2.2 録画時間の目安

マイクロSDカードの容量に対する録画時間の目安を示します。

下記の時間は、各フォルダ（ノーマル、イベント、写真）を合わせた時間となります。

解像度の変更方法は『6.1 録画設定メニュー』（33ページ）を参照してください。

解像度 フロント/車内/リア	圧縮形式	記録サイズ	16GB	32GB	64GB	128GB
		上：フロント 中：車内 下：リア				
WQHD/FHD/FHD	H.264	2560×1440p 1920×1080p 1920×1080p	約 60分	約 100分	約 200分	約 400分
FHD/FHD/FHD		1920×1080p 1920×1080p 1920×1080p	約 70分	約 120分	約 240分	約 480分

▲ マイクロSDカードはUHSスピードクラス3をお使いいただくと、より高速で安定した書き込みを行えます。

▲ 記録時間は目安であり保証するものではありません。マイクロSDカードの空き容量が無い場合、ノーマルフォルダ約70%、イベントフォルダ約20%になるように古いファイルからループ録画で上書きされます。写真フォルダ内には、静止画ファイルの他にシステムファイルが約600MB保存されません。

▲ 本製品はexFAT形式のフォーマットには対応していません。新品やパソコンでフォーマットした64GB以上のマイクロSDカードを使用する場合は、本製品でフォーマットしてください。

▲ リアカメラケーブルを外した場合は、本体のみの状態で使用することができます。

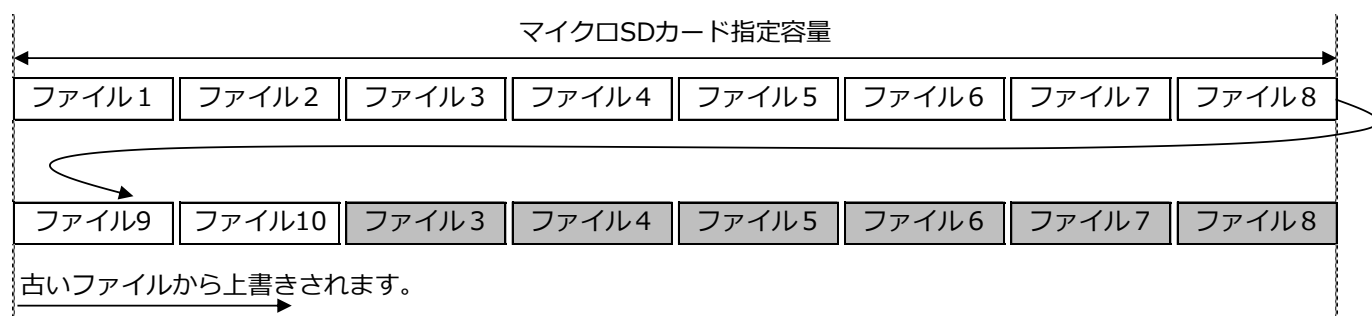
## 2.3 動画モード画面表示



番号	名称	説明
①	操作ボタンガイドバー	本体上部にある操作ボタンの位置と役割を示します。
②	車内カメラ画面	各カメラの映像が表示されます。 「DOWN/表示切替」キーで表示方法を変更できます。 →『1.5 カメラの画面表示について』(8 ページ)
③	リアカメラ画面	
④	フロントカメラ画面	
⑤	録画中アイコン	● 赤丸の点滅は録画中であることを示します。 ▲ 緊急録画中であることを示します。 録画停止時はアイコンが表示されません。
⑥	録画時間	録画時間を示します。あらかじめ設定したループ録画時間に到達すると 00:00:00 に戻ります。 録画停止中は表示されません。
⑦	日付/時刻 表示	現在の日付と時刻を表示します。
⑧	GPS アイコン	📶 GPS 情報を受信していることを示します。 点滅状態は正常に受信できてないことを示します。
⑨	駐車監視 アイコン	P 駐車監視設定がオンであることを示します。 オフの場合は表示されません。
⑩	ループ録画 アイコン	ループ録画時間を示します。 🔄 1 分ループ設定を示します。 🔄 3 分ループ設定を示します。 🔄 5 分ループ設定を示します。
⑪	Gセンサー アイコン	Gセンサーの設定状態を示します。 G Gセンサーがオンであることを示します。 🚫 Gセンサーがオフであることを示します。
⑫	マイク アイコン	音声録音の状態を示します。 🔊 音声録音がオートモードであることを示します。 🔊 音声録音がオンであることを示します。 🚫 音声録音がオフであることを示します。
⑬	露出 アイコン	EV +0.0 露出 (=明るさ) の設定値を示します。

## 2.4 常時録画

- (1) 車両のエンジンを始動（ACC=オン）させると本製品がオンになり、自動的に録画を開始し、エンジン停止（ACC=オフ）まで、マイクロ SD カードに常時録画します。録画開始時は音でお知らせします。
- (2) 録画は、あらかじめ設定したループ録画単位で 1 ファイル毎にノーマルフォルダに記録されます。録画したファイルがマイクロ SD カードの指定容量（全体の約 70%<sup>\*</sup>）に達すると、古いファイルから順次上書きを行い、自動的にループ録画を繰り返します。ループ録画時間は「録画設定」メニューで設定できます。（●ループ録画（34 ページ）参照）（※システムファイルは除く）  
⚠ 常時録画ファイルがノーマルフォルダ容量（全体の約 70%<sup>\*</sup>）を超えて録画すると、古いファイルから上書きされます。（※システムファイルは除く）



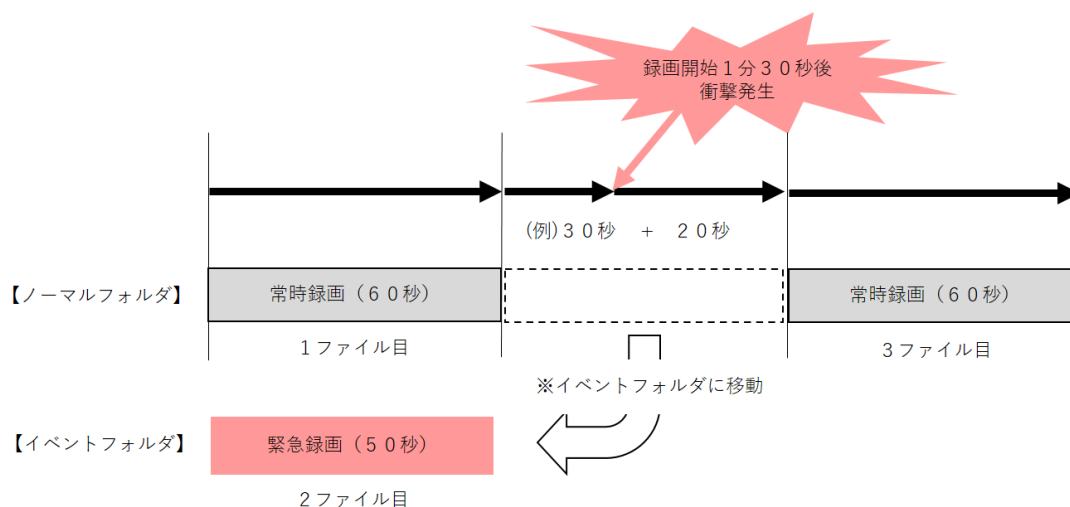
## 2.5 マニュアル録画

録画中に「OK」キーを押すと録画を停止します。停止中に再度「OK」キーを押すと録画を開始します。録画の条件および動作は「常時録画」と同じです。

## 2.6 緊急録画（衝撃検出時）

- (1) 「常時録画」中に、本体に衝撃が加わり内蔵の G センサーが検出すると、LCD 画面上に ⚠ アイコンが表示されます。⚠ アイコンが表示されると約 20 秒間録画を継続し、保護ファイルとしてイベントフォルダに記録され、その後の「常時録画」（緊急以外の録画）では上書きされなくなります。（緊急録画を開始したタイミングでスナップショット撮影が行われ、写真フォルダに画像が 1 枚保存されます。）
- (2) イベントフォルダのファイルがマイクロ SD カードの指定容量（全体の約 20%<sup>\*</sup>）に達すると、古いファイルから順次上書きを行い、自動的にループ録画を繰り返します。（※システムファイルは除く）  
⚠ こまめにマイクロ SD カードのデータは、パソコンなどへバックアップを行うことをお勧めします。バックアップの方法はお手持ちの機器の取扱説明書などをご確認ください。また、本体でのファイル消去の方法は『5.1 ファイルの消去』（31 ページ）を参照してください。
- (3) G センサーの感度は 3 段階から選択できます。「録画設定」メニューで設定してください。  
⚠ 軽微な接触等、振動や衝撃が弱い事故が発生した場合は、G センサーが振動や衝撃を検出できない場合があります。

- ❗ 事故の程度に関わらず、事故発生時は記録されたデータが上書きされないように、必ずマイクロ SD カードを抜いて保管およびデータのバックアップを行ってください。
- ❗ マイクロ SD カードを抜き差しを行うときは、必ず電源をオフにしてから行ってください。電源がオンのまま抜き差しを行うと、マイクロ SD カードの破損、データ消失や本製品の故障の原因になります。



※図中の 30 秒はループ録画中の時間例です。+20 秒は緊急録画として固定となります。

※イベントフォルダに保存されたファイルの容量が一杯になると、イベントフォルダ内の古いファイルから順に上書きされます。イベントフォルダの容量は、マイクロ SD カードの空き容量に対して、全体の約 20%※となります。(※システムファイルは除く)

## 2.7 保護録画 (手動)

- (1) 録画中に「メニュー/ロック」キーを押すと LCD 画面上に アイコンが表示されます。(保護録画を開始したタイミングでスナップショット撮影が行われ、写真フォルダに画像が 1 枚保存されます。)
- (2) LCD 画面上に アイコンが表示されると約 20 秒間録画を継続し、保護ファイルとしてイベントフォルダに記録されます。

イベントフォルダに保存されたファイルの容量が一杯になると、イベントフォルダ内の古いファイルから順に上書きされます。イベントフォルダの容量は、マイクロ SD カードの空き容量に対して、全体の約 20%※となります。(※システムファイルは除く) 保存したいファイルはこまめにパソコンなどへバックアップを行い、保護ファイルは定期的に消去してください。本体でのファイル保護解除の方法は『5.2 ファイルの保護/保護解除』(32 ページ)を、ファイル消去の方法は『5.1 ファイルの消去』(31 ページ)を参照してください。

## 2.8 駐車監視

### 重要

＜駐車監視をご使用されるお客様へ＞

⚠ 駐車監視を行う際は、弊社別売の専用駐車監視ケーブルが必要です。

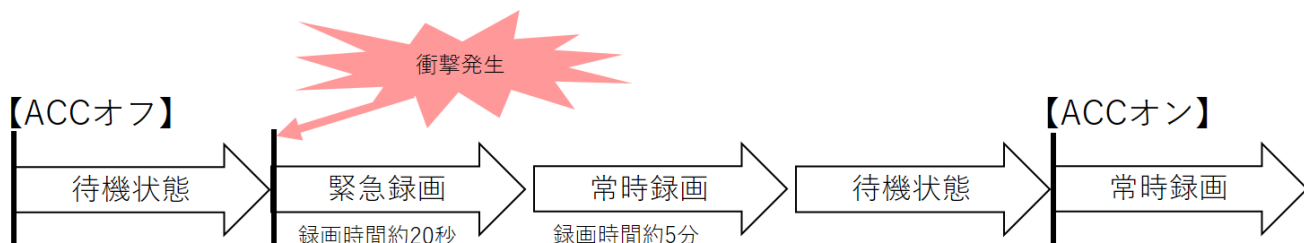
※「OWL-DRCB2-MINI」のご購入をお勧めいたします。

⚠ 下記の注意事項を確認のうえ使用してください。

- 次の方は車両のバッテリー上がりの原因になりますので、本機能のご使用を控えてください。  
(毎日乗車しない、1日の走行が1時間以下、車両のバッテリーの交換頻度が少ない方)
  - 長期間運転しない場合は、本機能の使用を控えてください。車両のバッテリー上がりが発生しやすくなります。使用しない場合は、専用駐車監視ケーブルの設定を初期設定（タイマー・オフ）に戻してください。
  - 車両のバッテリー上がりに関して、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ❗ 駐車監視は車両のバッテリーに負荷が掛かります。ご使用後は必ずエンジンを始動し、充電を行ってください。また、定期的に車両のバッテリーの点検を行ってください。
- ⊘ 真夏の日中など車内温度が動作温度範囲を超えて動作を続けた場合、故障が発生する可能性が高まります。動作温度範囲を超える状況下では、ご使用を中止してください。
- ⚠ 軽微な接触等、振動や衝撃の弱い事故などが発生した場合は、Gセンサーが振動や衝撃を検出できず録画できない場合があります。
- ⚠ 専用駐車監視ケーブルのタイマー機能は、必ず設定された時間で動作することを保証するものではありません。車両のバッテリーの容量や使用環境により変わります。タイマー機能を設定しても車両のバッテリー電圧が停止電圧値の設定に到達すると電源がオフとなり駐車監視が終了します。

### ● 専用駐車監視ケーブル（OWL-DRCB2-MINI）をお持ちの方

（ACC連動機能付き）



※緊急録画終了時点から衝撃を検知した場合、  
検知した時点から5分延長されます。

車両のエンジン停止（ACC=オフ）後、「駐車監視」が開始され、カメラ本体は待機状態となります。（LCD画面やインジケータを消灯します。）

「駐車監視」中はGセンサーが衝撃を検知すると待機状態が解除され、約20秒間の「緊急録画」を行った後に「常時録画」を約5分間継続します。「常時録画」中に次の衝撃が無い場合は、再び待機状態に戻



ります。

※「駐車監視」中の「緊急録画」はイベントフォルダに、「常時録画」はノーマルフォルダに保存されま  
す。

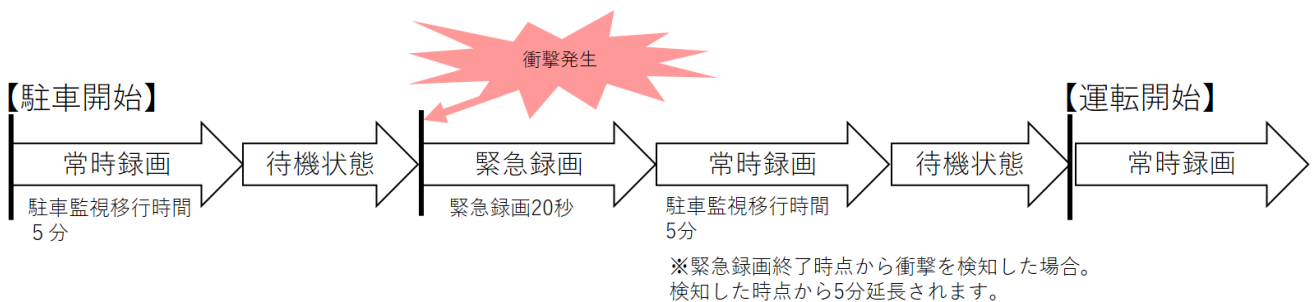
「駐車監視」は専用駐車監視ケーブルの出力停止タイマー設定、または停止電圧値設定で終了するまで継  
続します。「駐車監視」中にエンジンを始動（ACC=オン）した場合は、本体は待機状態を解除し「常時  
録画」を開始します。

「駐車監視」中の衝撃検知感度は変更できます。変更方法は『6.1 録画設定メニュー』の「駐車監視」（35  
ページ）を参照してください。

## ● OWL-DRCB-MINIをお持ちの方

（※OWL-DRCB2-MINI とは別の製品です）（G センサー連動機能付き）

⚠ エンジンの始動と停止に合わせた「駐車監視」と「常時録画」の制御はできません。



車両の状態を監視し自動で「駐車監視」に移行します。車両に振動が無い状態で約5分経過すると「駐車  
監視」に移行し、カメラ本体は待機状態となります。（LCD画面やインジケータを消灯します。）

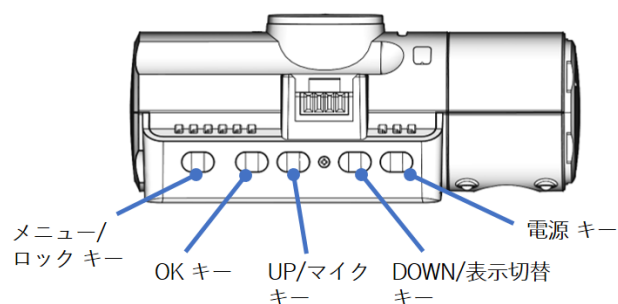
「駐車監視」中はGセンサーが衝撃を検知すると待機状態が解除され、約20秒間の「緊急録画」を行っ  
た後に「常時録画」を約5分間継続します。「常時録画」中に次の衝撃が無い場合は、再び待機状態に戻  
ります。

※「駐車監視」中の「緊急録画」はイベントフォルダに、「常時録画」はノーマルフォルダに保存されま  
す。「駐車監視」は専用駐車監視ケーブルの出力停止タイマー設定、または停止電圧値設定で終了するま  
で継続します。「駐車監視」中にエンジンを始動（ACC=オン）した場合は、本体は待機状態を解除し「常  
時録画」を開始します。

⚠ 長時間のアイドリング中や渋滞など、車両を動かさない状態が続くと「駐車監視」に移行することが  
あります。また、走行を始めても「常時録画」に復帰しない場合には「駐車監視」の感度設定を変更  
することで移行頻度を変えることができます。

⚠ 機械式駐車場やフェリー等、車両が揺れやすい状態では「駐車監視」に自動移行しない場合があります。  
一時的に使用を中止し電源をオフにしてください。専用駐車監視ケーブル（OWL-DRCB2-MINI）  
のご購入をおすすめいたします。

## ＜使用方法＞



⚠ 専用駐車監視ケーブルの種類に関わらず、この機能を使用するためには下記の設定と専用駐車監視ケーブル側の設定が必要です。

- (1) 録画停止中に「メニュー/ロック」キーを押すとメニューが表示されます。  
(録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください。)
- (2) 「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで「録画設定」を選択し、「OK」キーで決定してください。
- (3) 「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで「駐車監視」を選択し、「OK」キーで決定してください。
- (4) 変更する項目の詳細が表示されます。「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで希望の感度を選択し、「OK」キーで決定してください。本機能が有効となります。(有効後の動作に関しては、前述の説明に従って行います。)

項目	説明
オフ	駐車監視を行いません。
低感度	駐車監視中に非常に大きな衝撃が起こると検出します。 →移行感度：低
中感度	駐車監視中に軽微な衝撃より大きな衝撃が起こると検出します。 →移行感度：中
高感度	駐車監視中に軽微な衝撃でも検出します。 →移行感度：高

- ❗ 「駐車監視」を使用しない場合は、本設定をオフにしてください。
- ⚠ 「駐車監視」は車両の異常すべてに関して録画を保証する機能ではありません。あらかじめご了承ください。
- ⚠ 「OWL-DRCB-MINI」を使用している場合は、駐車監視設定の感度が駐車監視の移行感度を兼ねています。駐車監視への移行や「常時録画」へ復帰しにくい時は、設定を変更することで改善される場合があります。

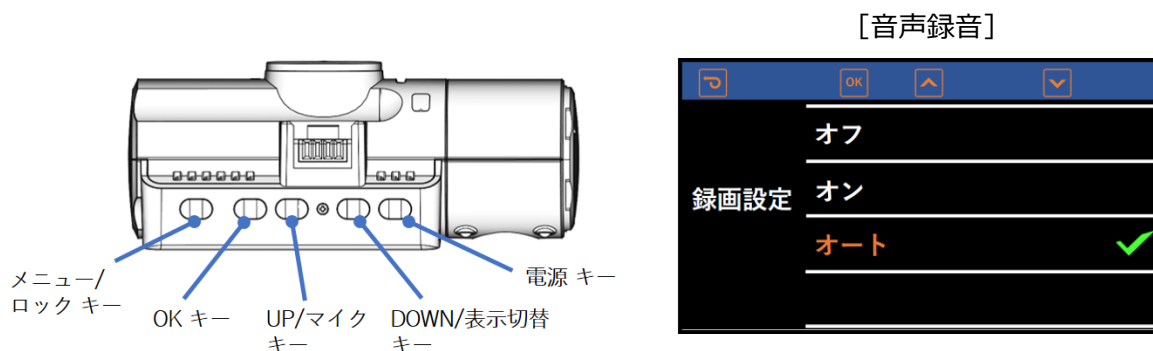
## 2.9 プライバシーオート録音

「常時録画」中は音声録音を行わず、衝撃を検知した場合に音声録音を行う機能です。

衝撃を検知した時点から音声録音が始まり、1 ファイル録画完了まで録音されます。次の録画では再び音声録音は行わない状態に戻ります。(録画ファイルはイベントフォルダに保存されます。)

この機能は、設定を「オート」にすることで有効になります。

動画モード画面の状態で、「DOWN/表示切替」キーを押してください。押す毎に録音をオン→オフ→オートに変更することができます。「録画設定」メニューからも同じ変更ができます。



- (1) 録画停止中に「メニュー/ロック」キーを押すとメニューが表示されます。  
(録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください。)
- (2) 「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで「録画設定」を選択し、「OK」キーで決定してください。
- (3) 「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで「音声録音」を選択し、「OK」キーで決定してください。
- (4) 変更する項目の詳細が表示されます。「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで任意の設定を選択し、「OK」キーで決定してください。本機能が有効になります。

項目	説明
オン	録画中は常に音声録音を行います。
オフ	録画中は常に音声録音を行いません。
オート 【初期設定】	常時録画では音声録音を行わず、手動保護や衝撃を検出すると自動的に音声録音を行います。

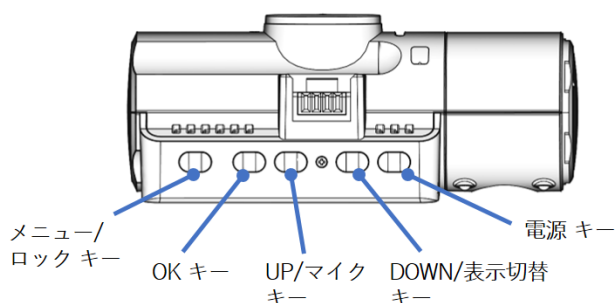
- (5) 「メニュー/ロック」キーを3回押すと動画モードに戻ります。

⚠ 衝撃を検出する前の音声は録音されません。衝撃を検出し LCD 画面上に ⚠ アイコンが表示されている間、音声を録音します。

## 3 写真を撮る

### 3.1 スナップショット

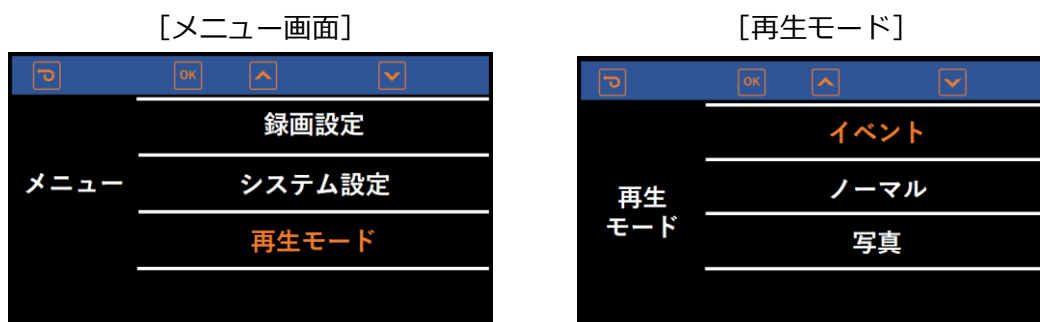
- 録画中に「電源」キーを押すと、録画しながらスナップショット写真を撮影します。
- スナップショットはフロントカメラのみ撮影されます。



- ⚠ 録画停止中ではスナップショット撮影はできません。
- ⚠ スナップショットは動画モードの解像度で記録されます。

## 4 再生する

### 4.1 本製品での再生



- (1) 録画停止中に「メニュー/ロック」キーを押すとメニューが表示されます。  
(録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください。)
- (2) 「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで「再生モード」を選択し、「OK」キーで決定してください。
- (3) 再生モードの「イベント」「ノーマル」「写真」から目的のフォルダの項目名を「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで選択すると、記録されたファイルの一覧が表示されます。
- (4) 再生するファイルを「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで選択し、「OK」キーで決定してください。1画面表示に切り替わり、動画の場合は録画ファイルが再生されます。スナップショットの場合は写真ファイルが表示されます。

項目	説明
イベント	「緊急録画」、「保護録画」で撮影された録画ファイルが一覧表示されます。
ノーマル	「常時録画」で撮影された録画ファイルが一覧表示されます。
写真	スナップショットで撮影された写真が一覧表示されます。

## 4.2 再生モード画面表示

[一覧表示：イベント、ノーマル、写真]

※例：イベント画面



[1画面表示：動画再生]



[1画面表示：写真表示]



番号	名称	説明
①	保護 アイコン	保護ファイルであることを示します。
②	記録 ファイル	動画または静止画ファイルであることを示します。選択しているファイルはオレンジ色の枠で表示します。
③	操作ボタンガイドバー	本体上部にある各操作ボタンの位置と役割を示します。
④	ファイル名	選択したファイル名を示します。
⑤	フォルダ名	現在閲覧中のフォルダ名を示します。
①	操作ボタンガイドバー	本体上部にある各操作ボタンの位置を示し、それぞれ以下の操作が行えます。 「メニュー/ロック」キー：戻る 「OK」キー：停止/再生 「DOWN/表示切替」キー：早送り
②	停止中 アイコン	停止中を示します。
③	再生速度 アイコン	再生速度を示します。
④	再生時間	現在再生中の動画時間を示します。
⑤	ファイル名 (MP4)	選択した動画ファイル名を示します。
⑥	ファイル番号	表示中のファイル/全ファイル数を示します。
⑦	ファイル名 (JPG)	選択した写真ファイル名を示します。

### 4.3 パソコンでの再生

本製品で撮影した映像および画像は、マイクロ SD カードを介してパソコンで確認することができます。

- (1) 本製品の電源がオフであることを確認し、マイクロ SD カードを取り出します。
- (2) マイクロ SD カードを市販の SD カード変換アダプタにセットし、パソコンの SD カードスロットに挿入します。パソコンに SD カードスロットがない場合は、市販のカードリーダーなどを使用してください。
- (3) パソコンでマイクロ SD カードが接続されているドライブをダブルクリックすると、3 種類【Video（ノーマル）、Protect（イベント）、Photo（写真）】のフォルダが表示されます。（※（）内は再生モード上での表記です。）

録画ファイルは下記の表（保存ファイルの種類）に従って保存されています。

- (4) 再生したいフォルダを開いてください。
- (5) 再生したいファイルを選択し、MP4 対応の動画再生ソフト、または専用ビューワーソフトで再生してください。

⚠ ビデオ圧縮形式を H.265 で設定し再生を行う場合、Windows Media Player 等の Windows 付属ソフトでは再生できません。サードパーティ製の動画再生ソフト、または専用ビューワーソフトを使用してください。

マイクロ SD カードのフォルダと保存ファイル例

フォルダ名	保存ファイルの種類	カメラ種類	保存ファイルの例
Video	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常時録画</li> <li>・ マニュアル録画</li> <li>・ 駐車監視 (常時録画)</li> </ul>	フロントカメラ	2020_04_01_132216_A.MP4
		車内カメラ	2020_04_01_132216_B.MP4
		リアカメラ	2020_04_01_132216_C.MP4
Protect	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急録画</li> <li>・ 手動保護録画</li> <li>・ 駐車監視 (緊急録画)</li> </ul>	フロントカメラ	2020_04_01_132216_A.MP4
		車内カメラ	2020_04_01_132216_B.MP4
		リアカメラ	2020_04_01_132216_C.MP4
Photo	スナップショット	フロントカメラ	2020_04_01_132216_A.JPG

⚠ Photo フォルダ内には、写真ファイルの他にシステムファイルが作成されます。

ファイル名詳細（上記表中の保存ファイルの例）

ファイル名	2020_04_01	_132216_	A/B/C	MP4/JPG
説明	年月日	13:22:16 (録画開始日時)	フロント/車内/ リア	ファイル 種別

❗ マイクロ SD カードの抜き差しを行うときは、必ず本体の電源をオフにしてから行ってください。電源がオンのまま抜き差しを行うと、マイクロ SD カードの破損、データ消失や本製品の故障の原因になります。

⚠ 本製品には SD カード変換アダプタやカードリーダーは付属していません。





## 4.4 ビューワーソフトでの再生

本製品で撮影した静止画を除く映像は、専用のビューワーソフト「Cardvr Player A」で再生することができます。

ビューワーソフトと、ソフトの取扱説明書は、下記の弊社 Web サイトの「OWL-DR803FG-3C」の商品ページからダウンロードしてください。ダウンロードしたソフトを解凍後、画面の指示に従ってインストールしてください。

- 対応 OS : Windows8 以降
- 弊社 Web サイトの URL  
<https://www.owltech.co.jp>

 ビューワーソフト「Cardvr Player A」は予告なく変更されることがあります。詳細は弊社 Web サイトを参照してください。


 macOS は非対応です。


## 4.5 テレビ（モニター）での再生

本製品は市販の HDMI ケーブルを使って、本製品に保存された録画ファイルをテレビやモニター上で再生することができます。


テレビまたはモニターでの再生には、下記の準備が必要になります。


- HDMI ケーブル（マイクロ HDMI⇔HDMI）（本製品には付属していません。）
- 給電用ケーブル・AC アダプタ（本製品には付属していません。）


 カメラ本体への給電は「リアカメラ端子（USB Type-C）」に差し込んで行います。市販の USB Type-C ケーブル及び AC アダプタ（5V/1.5A）をご利用ください。

 市販のケーブルや AC アダプタによっては正常に動作しない場合があります。すべての機種での動作保証はしておりません。あらかじめご了承ください。

- (1) 本体の AV OUT 端子（マイクロ HDMI）とテレビまたはモニターを、市販の HDMI ケーブルで接続します。
- (2) テレビまたはモニターの電源を入れ、外部入力設定を行ってください。
- (3) 本製品の電源を入れると、自動的にテレビ（モニター）に「再生モード」の映像が映し出されます。
- (4) カメラ本体の LCD 画面の表示が消えます。
- (5) 操作方法は、本製品での再生方法と同じです。

 録画の有無にかかわらず、撮影中の画面をテレビ（モニター）に表示する事はできません。

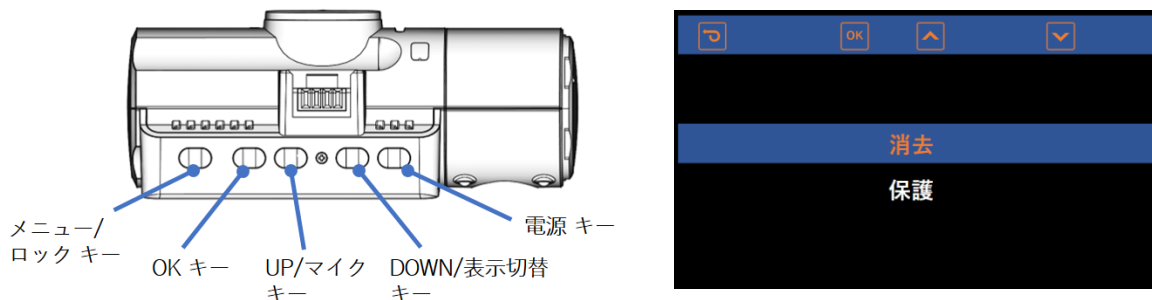
 テレビ（モニター）に出力中は、録画はできません。

 テレビ（モニター）に出力中は、本製品の LCD 画面は表示されません。（画面オフ）

## 5 消去する／保護する

### 5.1 ファイルの消去

動画や写真ファイルを消去する場合は、「再生モード画面（一覧表示）」から行うことができます。



- (1) 録画停止中に「メニュー/ロック」キーを押すとメニューが表示されます。  
(録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください。)
- (2) 「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで「再生モード」を選択し、「OK」キーで決定してください。
- (3) 「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで目的のフォルダを選択し、「OK」キーで決定してください。
- (4) 動画または写真の一覧から消去するファイルを選択し、「電源」キーで決定してください。  
「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで「消去」を選択し、「OK」キーで決定してください。
- (5) 下記の項目が表示されるので、「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで下記の項目を選択し、「OK」キーで決定するとファイルが消去されます。  
⚠ 一度消去したファイルは復元できませんので、ご注意ください。

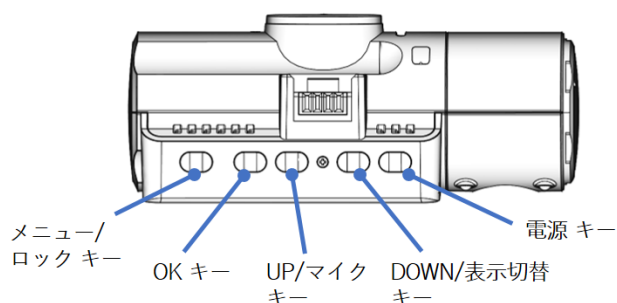
項目	説明
このファイルを消去	選択中のファイルを消去します。
全てのファイルを消去	閲覧中のフォルダ内にある全てのファイルを消去します。

- (6) 消去が完了すると一覧に戻ります。

## 5.2 ファイルの保護／保護解除

録画ファイルを手動で保護/保護解除することができます。保護した録画ファイルは、イベントフォルダに移動され、常時録画では上書きされなくなります。保護解除した録画ファイルは、ノーマルフォルダに移動され、常時録画で上書きされるようになります。

⚠ ファイル保護を行い、イベントフォルダに録画ファイルを移動した時点で、イベントフォルダのファイル容量が一杯の場合は、イベントフォルダ内の古いファイルから順に上書きされます。イベントフォルダの容量は、マイクロ SD カードの空き容量に対して全体の約 20%※となります。(※システムファイルは除く)



- (1) 録画停止中に「メニュー/ロック」キーを押すとメニューが表示されます。  
(録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください。)
- (2) 「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで「再生モード」を選択し、「OK」キーで決定してください。
- (3) 「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで目的のフォルダを選択し、「OK」キーで決定してください。

⚠ 写真フォルダ内のファイルは保護できません。

- (4) 一覧から保護/保護解除するファイルを選択し、「電源」キーで決定してください。
- (5) 「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで「保護」を選択し、「OK」キーで決定してください。
- (6) 「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで下記の項目を選択し、「OK」キーで決定してください。

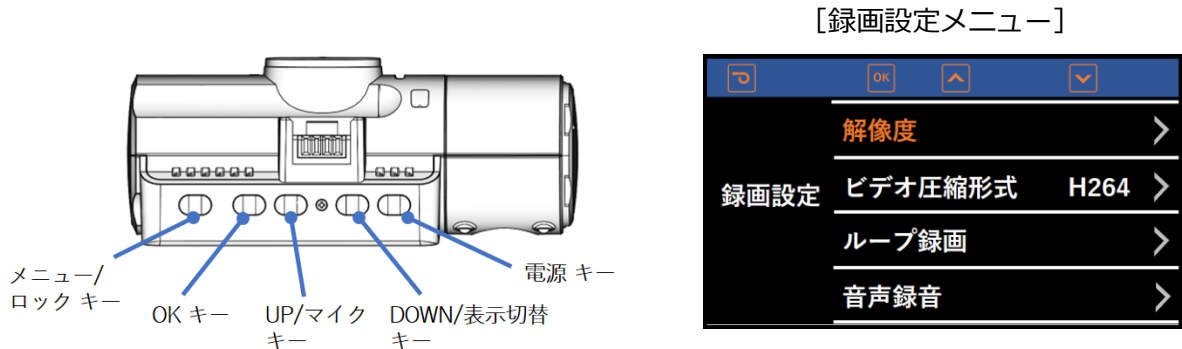
項目	説明
このファイルを保護	選択中のファイルを保護します。 (イベントフォルダに移動します。)
全てのファイルを保護	閲覧中フォルダ内にある全てのファイルを保護します。 (イベントフォルダに移動します。)
このファイルを保護解除	選択中のファイルの保護を解除します。 (ノーマルフォルダに移動します。)
全てのファイルを保護解除	閲覧中フォルダ内にある全てのファイル保護を解除します。 (ノーマルフォルダに移動します。)

- (7) 保護/保護解除が完了すると一覧に戻ります。目的のファイルが移動先のフォルダに移動しているか確認してください。

## 6 設定を変更する

### 6.1 録画設定メニュー

録画に関わる設定を変更できます。



- (1) 録画停止中に「メニュー/ロック」キーを押すとメニューが表示されます。  
(録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください。)
- (2) 「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで「録画設定」を選択し、「OK」キーで決定してください。
- (3) 変更する項目を「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで選択し、「OK」キーで決定してください。
- (4) 変更する項目の詳細が表示されます。「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで選択し、「OK」キーで決定してください。

#### <録画設定項目>

- 解像度【初期設定：WQHD】  
動画の解像度を設定します。  
解像度はフロントカメラのみ変更ができます。車内カメラ・リアカメラはFHD（フルHD）固定です。

項目	説明
WQHD	フロントカメラを 2560x1440p で記録します。
FHD	フロントカメラを 1920x1080p で記録します。

⚠️ リアカメラコードを外すと、フロントカメラと車内カメラのみ使用できます。

- ビデオ圧縮形式【初期設定：H.264】  
H.264 は MP4 等に用いられる一般的な圧縮形式です。多くの再生プレイヤーなどで再生が可能です。  
H.265 は H.264 の後継で開発された圧縮形式です。従来よりもファイルサイズを小さくできるため、長時間録画に適しています。

項目	説明
H.264	録画ファイルを H.264 形式で記録します。
H.265	録画ファイルを H.265 形式で記録します。

- ❗ H.265 を設定する際は、あらかじめ使用されているパソコン環境（再生プレイヤー等）で、H.265 形式のファイルが再生できることを確認してください。
- ⚠️ H.265 の圧縮形式は、常時ファイルサイズが小さくなる機能ではありません。撮影環境により圧縮効果を得られない場合があります。

● ループ録画【初期設定：1分】

録画時間単位を設定します。1ファイル毎に設定した時間で録画されます。マイクロSDカードの容量に空きが無いと、古いファイルから順次上書きを行い、自動的にループ録画を繰り返します。

項目	説明
1分	1分単位のループ録画を行います。
3分	3分単位のループ録画を行います。
5分	5分単位のループ録画を行います。

● 音声録音【初期設定：オート】

録画と同時に音声を録音することができます。オートに設定すると、「常時録画」では音声録音を行わず、衝撃を検出すると自動的に音声録音を行います。

項目	説明
オン	録画中は常に音声録音を行います。
オフ	録画中は常に音声録音を行いません。
オート	常時録画では音声録音を行わず、衝撃を検出すると自動的に音声録音を行います。

● Gセンサー【初期設定：中感度】

衝突事故などの衝撃を検出してファイルを保護します。保護されたファイルはその後の「常時録画」（ループ録画）では上書きされません。

項目	説明
オフ	衝撃を検出しません。
低感度	大きな振動が起こると検出します。
中感度	中規模の衝撃が起こると検出します。
高感度	軽微な衝撃でも検出します。

❗ 検出される度合いは車両や取付位置によって変わります。事前にテストを行い、ご希望の感度を設定してください。

● WDR【初期設定：オン】

WDRをオンにすることで逆光やトンネルの出入り口など、明暗が強い場合に自動で画像補正を行い鮮明な映像（画像）を録画します。

項目	説明
オフ	WDRをオフにします。
オン	WDRをオンにします。

⚠ 本設定は、フロントカメラ・リアカメラ・車内カメラ全てに設定されます。個別での設定はできません。

● 露出【初期設定：0】

光量を調整してお好みの露出（明るさ）で録画します。-2.0～+2.0の範囲で調整できます。

暗くしたい時	←	標準	→	明るくしたい時
-2.0 ~ -0.5		0		+0.5 ~ +2.0

⚠ 本設定は、フロントカメラ・リアカメラ・車内カメラ全てに設定されます。個別での設定はできません。

● ドライバー情報【初期設定：未設定】

自動車のナンバープレート番号など、数字とアルファベットを最大9桁設定できます。設定した番号は記録した映像にスタンプとして重ねて記録でき、記録データの管理などにご活用いただけます。

「UP/マイク」キー、「DOWN/表示切替」キーで文字/数字を選択、「OK」キーで次の桁に移動します。入力後「メニュー」キーを押すと、設定を保存して「録画設定」メニューに戻ります。

● 駐車監視【初期設定：オフ】

この機能を使用するためには、別売の専用駐車監視ケーブルが必要です。オフ以外の設定を選択すると「駐車監視」が行われます。

- ⚠️ ご使用の製品が「OWL-DRCB-MINI」の場合、駐車監視設定の感度が駐車監視の移行感度を兼ねています。駐車監視への移行や常時録画へ復帰しにくい時は、設定を変更することで改善される場合があります。

『2.8 駐車監視』（23 ページ）を併せてご参照ください。

項目	説明
オフ	駐車監視を行いません。
低感度	駐車監視中に非常に大きな衝撃が起こると検出します。 →移行感度：低
中感度	駐車監視中に軽微な衝撃より大きな衝撃が起こると検出します。 →移行感度：中
高感度	駐車監視中に軽微な衝撃でも検出します。 →移行感度：高

- ❗ 「駐車監視」を使用しない場合は、設定をオフにしてください。

- ⚠️ 車両の異常全てに関して録画を保証する機能ではありません。あらかじめご了承ください。

● スタンプ【初期設定：全てオン】

撮影時に下記の内容を映像に重ねて記録できます。

チェックボックス内にレ点があると記録します。

チェックボックス内のレ点が無いと記録しません。

項目	説明
ロゴ	ロゴを映像に重ねて記録します。
日付/時刻	日付と時刻を映像に重ねて記録します。
ドライバー情報	ドライバー情報で設定した内容を映像に重ねて記録します。
速度	GPS で受信した速度情報を映像に重ねて記録します。
GPS	GPS で受信した位置情報を映像に重ねて記録します。

- ⚠️ 一度記録されたスタンプは記録映像から消去することはできません。

● リアカメラ設定【初期設定：鏡像】（鏡像＝鏡に映った姿形）

LCD 画面に表示されるリアカメラの映像を設定します。設定は電源オフ後も保持されます。

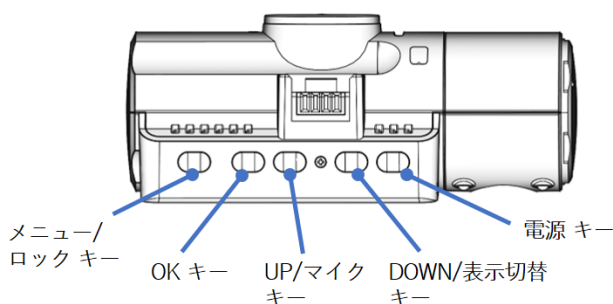
項目	説明
正像	LCD 画面への表示を正像にします。
鏡像	LCD 画面への表示を鏡像にします。

- ⚠️ 録画ファイルは設定に関わらず、「正像」（＝目でみた姿形）で記録されます。



## 6.2 システム設定メニュー

録画以外の設定を変更できます。



- (1) 録画停止中に「メニュー/ロック」キーを押すとメニューが表示されます。  
(録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください。)
- (2) 「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで「システム設定」を選択し、「OK」キーで決定してください。
- (3) 変更する項目を「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで選択し、「OK」キーで決定してください。
- (4) 変更する項目の詳細が表示されます。「UP/マイク」キーと「DOWN/表示切替」キーで選択し、「OK」キーで決定してください。

### <システム設定項目>

- 言語【初期設定：日本語】

メニューの言語を選択できます。

項目	説明
English	メニューを英語で表示します。
日本語	メニューを日本語で表示します。

- SD 初期化【初期設定：キャンセル】

マイクロ SD カードのフォーマットを行います（※マイクロ SD カード内の全てのデータが消去されます。）

項目	説明
キャンセル	マイクロ SD カードをフォーマットしません。
OK	マイクロ SD カードをフォーマットします。

- 日付/時刻

本機の日時は GPS により自動的に設定されるため、設定の必要がありません。ただし、GPS が受信できないような環境でお使いの場合は、『1.14 日時の設定』（16 ページ）をご参照のうえ設定を行ってください。

- 画面オフ【初期設定：オフ】

動画モードで、無操作状態が続いてから画面が LCD 省電力モードに切り替わるまでの時間を設定します。録画中、画面は消灯しますが、録画は継続されます。（録画中はインジケータが青色で点滅します。）

LCD 省電力モードから通常画面に復帰させるには、カメラ本体のいずれかのキーを押します。

項目	説明
オフ	LCD 省電力モードに切り替えません。
1 分	無操作状態が 1 分続くと LCD 省電力モードに切り替わります。
3 分	無操作状態が 3 分続くと LCD 省電力モードに切り替わります。
5 分	無操作状態が 5 分続くと LCD 省電力モードに切り替わります。

- 操作音【初期設定：オン】

キー操作時の音を設定します。

項目	説明
オフ	キー操作や動作に連動して音を鳴らしません。
オン	キー操作や動作に連動して音が鳴ります。

- 設定の初期化

本製品の設定内容を初期状態に戻します。この初期化では、マイクロ SD カードのデータは消去されません。

項目	説明
いいえ	初期化をキャンセルします。
はい	初期設定に戻します。

- FW バージョン

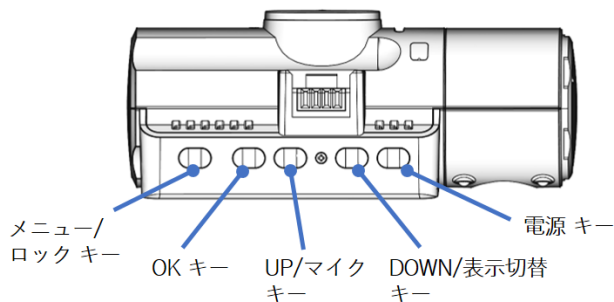
カメラのファームウェアのバージョンを表示します。

- SD カードメンテナンスのお知らせ【初期設定：オン】

本製品でマイクロ SD カードを最後にフォーマットしてから 1 カ月経過した場合、フォーマットや動作確認等のメンテナンスを促すメッセージを表示します。

項目	説明
オフ	お知らせを表示しません。
オン	お知らせの表示を行います。

## 7 キー割当て



キー モード	キー割当て				
	メニュー/ ロック	OK	UP/ マイク	DOWN/ 表示切替	電源
<b>■動画モード</b>					
録画中	ファイル保護	録画停止	マイク切替	表示切替	スナップ ショット
停止中	メニュー 表示/非表示	マニュアル 録画	マイク切替	表示切替	—
<b>■再生モード</b>					
一覧表示	戻る	1画面表示	前のファイルに 移動	次のファイルに 移動	消去/保護
1画面表示	戻る	一時停止/再生	前のファイルに 移動	次のファイルに 移動 /再生中は早送り	—
<b>■メニュー</b>					
メニュー設定	戻る	メニュー 項目の決定	上方向に 移動	下方向に 移動	—

※ 「電源」キーはモード状態に関わらず、長押し（約2秒以上）で電源オフとなります。

## 8 故障かな？と思ったら

### 8.1 電源がオン・オフにならない

- シガープラグコードは本製品付属のものですか？
- シガープラグコードは正しく GPS 内蔵ブラケットと接続されていますか？
- シガープラグコードのヒューズが切れていませんか？併せて車側のヒューズもご確認ください。

### 8.2 録画を開始しない

- 本体に電源は供給されていますか？
- マイクロ SD カードは正しく挿入されていますか？
- マイクロ SD カードに十分な空き容量があるか確認してください。
- マイクロ SD カードは、SDHC/SDXC 規格に適合した容量 128GB までの UHS スピードクラス 1 (U1) 以上の高速 SD カードですか？
- 上記事項を確認したうえで録画が開始されない場合は、マイクロ SD カードをフォーマットしてください。その際、必要があればフォーマット前にデータのバックアップを行ってください。

### 8.3 キーが反応しない、録画が勝手に停止する等、動作がおかしい

- 「リセット」キーを押して、本体をリセットしてください。
- マイクロ SD カードに不良セクタが発生している、または速度が遅いマイクロ SD カードを使用していると動作が止まる場合があります。一度、マイクロ SD カードをパソコン上でフルフォーマットするか、転送速度の速いマイクロ SD カードを使用してください。
- 長期間マイクロ SD カードを使用していた場合、マイクロ SD カードが劣化している可能性があります。新しいマイクロ SD カードとの交換をお試しください。

### 8.4 メモリーエラーが出る

- 使用中のマイクロ SD カードは、SDHC/SDXC 規格に適合した容量 128GB までの UHS スピードクラス 1 (U1) 以上の高速 SD カードですか？
- マイクロ SD カードは本製品でフォーマットを行いましたか？本製品は FAT32 形式以外のファイルシステムに対応しておりません。パソコンで exFAT 形式のフォーマットを行った場合は、再度本製品の「SD 初期化」を選択して、フォーマットをお試しください。
- フォーマットしたマイクロ SD カードを挿入しても、「SD カードを挿入してください」等の表示が消えない場合は、マイクロ SD カード自体に異常が起きている可能性があります。(内部のエラー又は、端子面の汚れや劣化等) マイクロ SD カードのクリーニングまたは、本製品やパソコン上でフルフォーマットを行っても解決しない場合は、本製品に適した規格の新しいマイクロ SD カードと交換してください。

### 8.5 常時録画ファイルが保存されていない

- 本製品は常時録画で録画したファイルを、ループ録画単位で 1 ファイル毎にノーマルフォルダへ保存しています。その際、マイクロ SD カードの指定容量に対してノーマルフォルダへの保存容量が全体の約 70%<sup>\*</sup>に達すると、古いファイルから順次上書き保存が行われます。16GB のマイクロ SD カードでは連続撮影時間が約 30~45 分で上書きが行われます。(※システムファイルは除く)
- 「G センサー」の設定が「高感度」になっていませんか？G センサーが衝撃を検出した時のファイルは、イベントフォルダに保存されます。イベントフォルダ内のファイルを確認してください。
- 「駐車監視」状態のまま走行していませんか？ACC 連動機能付きでない場合は、「駐車監視」の設定を「高感度」に設定してください。
- マイクロ SD カードを定期的にフォーマットしていますか？マイクロ SD カードは消耗品です。使用頻度に合わせて、1 カ月に 1 度を目安に定期的にフォーマットしてください。また、フォーマットに併せて、本製品が正常に動作しているかの確認を行ってください。
- マイクロ SD カードの最後の録画ファイルが破損していた場合は、以下の手順で修復される場合があります。
  1. マイクロ SD カードを本体に戻し、電源をオンにします。
  2. 動作中の録画を手動で停止します。(録画中に「OK」キーを押すと停止します。)
  3. 再度電源をオフにし、マイクロ SD カードを取り出し、ファイルをご確認ください。

- 短時間に本製品の電源のオン・オフを繰り返すと、マイクロ SD カードにファイルを保存することが間に合わず、録画ファイルが破損する恐れがあります。最低約 10 分程度は充電を行い、電源をオフしてください。

## 8.6 録画した映像がぼやけている

- 各カメラのレンズに汚れや指紋が付いていませんか？汚れなどは乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- 車のフロント・リアガラスが汚れていないか、または、ワイパーの可動範囲外に本製品が取り付けられていないか確認してください。

## 8.7 停車中やアイドリング中に電源がオフしてしまう

- アイドリングで停車している状態が続くと、駐車状態と判断し自動的に「駐車監視」が起動します。
- アイドリングストップ機能などがある車両は、お車の環境により正常に動作しない可能性があります。

## 8.8 地上デジタル放送や他の車載機器に影響がでる

- 本体やリアカメラ、ケーブルやコード類の配線を、地デジのテレビアンテナや ETC など他の車載機器からなるべく離して設置してください。

## 8.9 パソコンで映像が再生できない。又はスムーズに再生できない

- パソコンでの再生時には再生ソフトの「Cardvr Player A」をお使いください。弊社 Web サイトの商品ページからダウンロードいただけます。ダウンロードの詳細は『4.4 ビューワーソフトでの再生 (30 ページ)』を参照してください。他のビューワーソフトをご使用の際には、ファイル形式が MP4 かつ再生コーデックが H.264、H.265 対応のビデオを再生できる仕様であるかを確認してください。
- 他のビューワーソフトを使用している場合は別ソフトへと変更し、再生をお試しください。
- マイクロ SD カードのエラーまたは不良の可能性があります。録画ファイルをパソコンなどにコピーし、パソコン上から録画ファイルを選択し再生をお試しください。

## 8.10 日時がリセットされてしまう

- GPS 内蔵ブラケットが正しく本体に接続されていますか？
- GPS は正しく受信されていますか？GPS が正しく受信されるまでに、電源オンから約 1 分かかります。
- 長期間使用しない、短時間の使用が多い場合など、内蔵のスーパーキャパシタが充電不足になり日時がリセットされることがあります。その場合は 10 分以上充電してから、再度設定してください。

## 8.11 LCD 画面がしばらくすると消えてしまう

- LCD 省電力モードが有効の場合、録画中に設定時間が経過すると画面が消えます。LCD 画面を常に表示したい場合は、「システム設定」から「画面オフ」をオフにしてください。

## 8.12 リアカメラが表示されない

- リアカメラのコードは正しく本体に接続されていますか？
- カメラの画面表示が「フロントカメラのみ」になっていませんか？「DOWN/表示切替」キーを押すことで [3 画面表示] [フロントカメラのみ] [車内カメラのみ] [リアカメラのみ] の順に表示が切り替わります。

## 8.13 駐車監視が設定された時間通りに動作しない

- 設定された時間より、バッテリー保護電圧が先に到達している場合がございます。車両のバッテリーの状態や使用環境により時間は変わります。
- 待機中の消費電流が大きく車両のバッテリーへの負荷が大きい設定を使用していませんか？
- 車両のバッテリーの容量やご使用状況に合わせて、待機中の消費電力が小さく車両のバッテリーへの負荷が小さい設定をお試しください。

## 8.14 駐車監視に移行しない。又は復帰しない

- 機械式駐車場など、車両に振動が加わりやすい環境で使用されていませんか？車両が振動しやすい場所では、正常に「駐車監視」に移行しません。
- ACC 連動機能無しの場合、「駐車監視」の設定を「低感度」に設定されていませんか？設定を変更することで移行や復帰がしやすくなる場合があります。

- 専用駐車監視ケーブルの設定がタイマー・オフでないことを確認してください。
- 専用駐車監視ケーブルが ACC 連動機能ありの場合、専用駐車監視ケーブルの配線と車両のバッテリーが正常に接続されていますか？配線が外れたりしていませんか？それぞれで確認を行ってください。（車両側の配線は、取り付け作業を行った専門店等に確認のご依頼をお願いします。）

## 8.15 専用駐車監視ケーブルを使用しており、電源がオン・オフにならない

- 車両の ACC 電源や BATT 電源の配線等に接続されていますか？（車両側の配線は、取り付け作業を行った専門店等に確認のご依頼をお願いします。）
- 車両のバッテリーの充電が不十分である、または劣化していませんか？エンジンを始動しバッテリーへ充電を行い、専門店等に点検をご依頼ください。

## 8.16 トンネルの出入り口など明暗差があるところで本体から異音がする

- 本体の明るさセンサー付近の明暗により、通常撮影と赤外線撮影を自動で切り替えています。その際に「カチッ」と音がしますが異常ではありません。

## 製品に関するお問い合わせ

製品の取扱方法、修理等に関するご相談は、弊社サポートセンターまでお問合せください。  
ただし、シガープラグコード以外の取付作業等に関して、サポートは行っておりません。  
車両をご購入された販売店、ドライブレコーダーの取付作業をご依頼した専門店へご相談をお願いいたします。

【お問い合わせ先 URL】

<https://www.owltech.co.jp/contact-support>

上記アドレスのメールフォームより必要事項を記載の上、お問い合わせをお願いいたします。

- メールフォームは、24 時間 365 日受付しておりますが、ご返信はサポートセンターの受付時間内となります。
- 休日をはさむ場合や混雑している時間帯により回答に数日を要する場合がございます。
- お問い合わせの際に【製品型番・製品シリアル番号（本体にシールで記載）・購入日・購入店舗】の情報を確認させていただきます。事前にご準備いただくようにご協力をお願いいたします。

※上記アドレスは、弊社の都合により変更となる場合がございます。

その際は、弊社 Web サイトのサポートセンターの案内に従いお問い合わせください。

弊社ホームページ：<https://www.owltech.co.jp>



## 9 仕様

製品名		OWL-DR803FG-3C		
本体 カメラ仕様			フロントカメラ	車内カメラ
	映像素子		1/2.8 型 CMOS センサー	1/2.8 型 CMOS センサー
	総画素数		約 500 万画素	約 200 万画素
	有効画素数		約 370 万画素	約 200 万画素
	レンズ F 値		F1.4	F1.8
	視野角		対角 139° (水平 : 106° / 垂直 : 77°)	対角 148° (水平 : 124° / 垂直 : 65°)
	逆光補正		WDR	WDR
	赤外線 LED※1		非対応	940nm
記録解像度	動画	最大 2560x1440p (WQHD)	1920x1080p (FHD)	
	静止画※2	最大 2560x1440(WQHD)	非対応	
リア カメラ仕様	映像素子		1/2.8 型 CMOS センサー	
	総画素数		約 200 万画素	
	有効画素数		約 200 万画素	
	レンズ F 値		F1.8	
	視野角		対角 133° (水平 : 114° / 垂直 : 62°)	
	逆光補正		WDR	
	記録解像度	動画	1920x1080p (FHD)	
		静止画※2	非対応	
ケーブル仕様		約 8m (USB Type-C - microUSB)		
フレームレート		27.5fps		
記録方式	動画	MP4(H.264)		
	静止画※2	JPEG		
画面サイズ		2.45 インチ(IPS)		
記録メディア		SDHC/SDXC 規格 microSD カード(128GB まで対応) ※UHS スピードクラス 1 (U1) 以上 / microSD カード 16GB (U1) 付属		
映像・音声出力		対応(microHDMI)		
GPS	対応	GPS・みちびき対応		
	形状	ブラケット内蔵		
ブラケット		両面テープ貼り付けタイプ 電源入力 : miniUSB(5V/1.5A)		
本体電源入力 / 内蔵電源		ブラケットより供給 / スーパーキャパシタ		
シガープラグコード※3	入力	12V/24V(マイナスアース)		
	出力	miniUSB(5V/1.5A) / USB Type-A(5V/1A)		
	ケーブル長	約 4m		
動作温度範囲		-10℃~55℃		
外形寸法 (W x D x H)	本体	約 108 × 43 × 45 mm(ブラケット装着時 : H108mm)		
	リアカメラ	約 57 × 28 × 56 mm (ブラケット含む)		
重量	本体	約 107g (本体のみ)		
	リアカメラ	約 28g (ブラケット含む)		
その他		LED 信号機消滅問題対策済み/地デジ電波妨害対策済み		

※1 赤外線撮影は車内カメラのみ

※2 静止画はフロントカメラのみ撮影可能

※3 急速充電等には非対応です。また、全てのスマートフォンでの動作保証はしていません。

## ■録画時間の目安

マイクロ SD カードの容量に対する録画時間の目安を示します。

下記の時間は、各フォルダ（ノーマル、イベント、写真）を合わせた時間となります。

録画機能の詳細については、『2 録画する』（19 ページ～）を、解像度の変更方法は『6.1 録画設定メニュー』（33 ページ）を参照してください。

解像度 フロント/車内/リア	圧縮形式	記録サイズ 上:フロント 中:車内 下:リア	16GB	32GB	64GB	128GB
WQHD/FHD/FHD	H.264	2560×1440p 1920×1080p 1920×1080p	約 60 分	約 100 分	約 200 分	約 400 分
FHD/FHD/FHD		1920×1080p 1920×1080p 1920×1080p	約 70 分	約 120 分	約 240 分	約 480 分

- ⚠ マイクロ SD カードは UHS スピードクラス 3 をお使いいただくと、より高速で安定した書き込みを行えます。
- ⚠ 記録時間は目安であり保証するものではありません。マイクロ SD カードの空き容量が無い場合、ノーマルフォルダ約 70%、イベントフォルダ約 20%になるように古いファイルからループ録画で上書きされます。写真フォルダ内には、静止画ファイルの他にシステムファイルが約 600MB 保存されます。
- ⚠ 本製品は exFAT 形式のフォーマットには対応しておりません。新品やパソコンでフォーマットした 64GB 以上のマイクロ SD カードを使用する場合は、本製品でフォーマットしてください。
- ⚠ リアカメラケーブルを外した場合は、本体のみの状態で使用することができます。

# Owltech 保証書

## 1. 保証について

- 保証書は記載内容を確認の上、大切に保管してください。保証期間はご購入日より1年間です。
- 本製品の保証は、日本国内での使用に限ります。
- 開梱直後に故障または不具合が発生した場合は、販売店捺印のある本保証書か、それに代わるレシート、または納品書等をご用意の上、販売店または弊社サポートセンターへお問い合わせください。
- 以下保証規定に従った内容で無償修理または無償交換いたします。保証期間経過後の修理に関しましては有償修理または有償交換となります。

## 2. 保証規定

この保証書は正しい使用方法に従った上で起きた故障で、保証期間内であることが認められた場合に限り、無償で修理または交換を保証するものです。また適用範囲は本体・リアカメラ・シガープラグコードのみであり、マイクロSDカードなどの消耗品や付属品は保証の対象外となります。カメラユニットを車外に取り付けた場合は保証の対象外となります。保証期間内であっても次の各項に該当する場合は、保証対象外または有償対応となります。

- 使用上又は取付け時の誤り及び弊社以外での修理、調整、改造による故障及び損傷。
- ご購入後の落下、不適当な取付けなど、自損や不当な取り扱いによる故障及び損傷。
- 火災・地震・落雷・水害・その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
- 故障の原因が本製品以外（他の電子機器など）にあつて、それを点検修理した場合。
- 本保証書のご提示が無い場合及び本保証書に購入年月日・お客様名・販売店名の記載が無い場合。
- 本保証書に記入された事項を許可無く書き換えた場合。
- 機能上問題の無い小傷、液晶画面のドット抜け、及び箱などの軽微な傷や潰れ等。
- 製品を使用できなかったことへの対価、取外しや販売店への搬送など直接或いは間接的に発生する手間等の対価。
- 高温・高湿度環境下での使用及び、ほこりやごみの付着・虫などの侵入を原因とする故障など。
- オークション、中古販売及び譲渡等により本製品を入手した場合など。

品名/型番		ドライブレコーダー / OWL-DR803FG-3C	
ご購入年月日		年 月 日	
保証期間		ご購入日より1年間	
保証対象		本体・リアカメラ・シガープラグコード ※※取付け、取外し作業にかかる燃料、部品代、工賃等は保証対象外※※	
お客様	ご氏名	<b>無効</b>	
	ご住所		
	電話番号		
販売店	販売店印・	印	

\* 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

\* 本書は、本記載内容で無償修理・交換をさせていただくことをお約束するものです。本保証書にご購入店の捺印が無い場合は購入レシート等で代用可能ですので、必ずレシートは本保証書と一緒に大切に保管して下さい。

## 株式会社オウルテック

〒243-0422 神奈川県海老名市中新田5-24-1

webサイト <https://www.owltech.co.jp>

web内のメールフォームよりお問い合わせください。  
保証適用の際は購入履歴が必要となります。

☎046-236-3522 平日10時～12時 / 13時～18時

F-T190198-03